

文化財レスキュー活動報告書

－東日本大震災における倉の調査と資料の保全－



あいさつ

2011年3月11日午後2時46分、地震規模マグニチュード9.0、最大震度7の巨大地震が発生し、その直後に東北地方から関東地方にわたる太平洋沿岸を襲った大津波により、多くの人命が失われ、地域の暮らしを壊滅的にする被害を受けました。

この度の東日本大震災により、東北地方の太平洋沿岸の自治体は、地域経済や社会環境に大きな被害を被るとともに、地域の歴史を今に伝えてきた数多くの文化遺産も甚大な被害を受けました。

多賀城市でも、市内にある多くの文化遺産が被災し、特に津波に襲われた地域の被害は甚大で、危機的状況にありました。

そこで、本市の歴史を形づくる貴重な文化遺産を可能な限り保全し、後生に継承していくため、1ヶ月半にわたり文化財レスキュー活動を実施したところです。これらの活動は、所有者や全国史跡整備市町村協議会加盟自治体の文化財担当職員、関係機関、ボランティア等、多くの皆様の御支援・御協力があって、はじめて実現できたものであります。

この報告書は、市内文化財の被害状況と、文化財レスキュー活動について記録に残すとともに、調査活動で得た成果をまとめたものです。本書が、今後の文化財保全に少しでも役立てることができれば、望外の喜びであります。

最後に、文化財レスキュー活動から本書の刊行に至るまで、御指導・御協力を賜りました関係各位に対して、衷心より感謝を申し上げる次第であります。

平成24年3月

多賀城市教育委員会

教育長 菊地 昭吾

例　　言

1. 本書は、平成23年(2011)3月11日に発生した東日本大震災で被災した、多賀城市内の文化財保全活動として取り組んだ、文化財レスキュー活動の成果をとりまとめたものである。
2. 今回の保全活動によって寄贈された資料については、未だ保存処理中の資料や読み下し中の文書などもあり、今後調査研究の結果によって明らかになった時期に追加報告を行って行きたい。
3. 本書の印刷・刊行に関しては、文化庁の「平成23年度ミュージアム活性化支援事業国庫補助事業」を活用した。
4. 今回のレスキュー活動体制等については、以下のとおりである。

調査主体 多賀城市教育委員会

調査担当 文化財課

調査員 瀧川ちかこ 鈴木孝行 村松 稔 高橋守克 高倉敏明

協力員 城戸康利 中島恒次郎 山村信榮 井上信正 高橋 学(福岡県太宰府市教育委員会)

乾 哲也(三重県明和町教育委員会)

塙田順正(神奈川県小田原市教育委員会)

太田和子 小野本 敦(東京都国分寺市教育委員会)

宮田尚夫(ボランティア)

調査期間 平成23年5月23日～平成23年7月1日

5. 寄贈資料の搬入及び資料整理作業等について、下記の方々の協力を頂いた。

山田あゆみ 小泉茉莉子 星由香里 宮城ひとみ 佐々木清子 丑田明希 村上和恵

千葉都美 菅野良子 滝野とし子 内海美由紀 星栄之進 高橋豊一 青木園翰 鎌田和代 小林廣

小野進 佐々木秀一 星正明 千葉よしこ 高嶋敏明 藤本昭二 荒木淑子 安達竹雄

7. 協力員として職員の派遣を依頼した市町村は、全国史跡整備市町村協議会(略称「全史協」)の会員として、当市と強い絆をもっている。

8. 今回のレスキュー活動から本書の作成に至るまで、下記の方々及び機関から御指導、御協力を賜った。

半田正博(東北芸術工科大学教授) 大山龍顕(同大学嘱託研究員) 高橋恒夫(東北工業大学工学部教授)

東北歴史博物館 宮城県多賀城跡調査研究所

太宰府市教育委員会 明和町教育委員会 小田原市教育委員会 国分寺市教育委員会

仙台市博物館 東京文書救援隊

9. 本書の執筆は、次のとおり分担した。なお、編集は、高倉が行った。

瀧川 (1 - (1)、2、8)、鈴木 (6 - (4))、高橋 (6 - (3)、7 - (3))

それ以外は、高倉が執筆した。

目 次

あいさつ

例 言

目 次

1.はじめに	1
(1) 市内文化財の被害状況	3
(2) 文化財被害状況写真	4
2.被災した文化財への対応	5
(1) 活動記録	5
(2) 活動の様子	6
3.被災した倉の調査活動の目的と方法	7
4.活動計画と体制について	7
(1) 対象の設定と調査体制	7
(2) 計画スケジュールと工程図	8
5.活動の記録	8
(1) 調査日誌	10
(2) 活動の記録	11
6.調査成果	12
(1) 倉カードの作成	12
(2) 倉調査台帳（一覧表）	13
(3) 倉の実測図作成調査	20
(4) 資料カードの作成	24
(5) 水損文書の応急処置	46
7.まとめ	48
(1) 主な倉の構成と年代	48
(2) 板倉の構造的特徴について	53
(3) 保全資料の処置と記録作成	58
8.おわりに	58

図 版

- 第1図 津波浸水区域図
- 第2図 板倉実測図
- 第3図 板倉実測図
- 第4図 石倉実測図
- 第5図 資料登録カード
- 第6図 資料カード
- 第7図 分類コード別一覧表
- 第8図 倉の分布図
- 第9図 板倉の柱幅と柱間隔の数値分布グラフ

写 真

1. 津波襲来写真
2. 同上
3. 被害状況写真(国道45号線)
4. 被害状況写真(沖の井)
5. 館前遺跡
6. 多賀城跡作貫地区四阿
7. 八幡神社鳥居
8. 倒壊した萩原神社
9. 荒脛巾神社
10. 沖の井
11. 貞山運河
12. 八幡居家前碑群
13. 被災を受けた供養碑の調査
14. 災害ボランティアによる沖の井清掃後のようす
15. 水損文書発見
16. 埋文センターでの応急処置
17. 海軍工廠建物状況確認
18. 高橋・永井先生視察
19. 館前遺跡の応急処置
20. 瓦礫置き場から救出された石碑と手水鉢
21. 倉の聞き取り活動のようす
22. 倉の調査のようす
23. 倉の整理作業
24. 同上
25. 倉収納の資料整理作業
26. 倉から出された資料の整理作業
27. 水損した文書
28. 同上
29. 解体された倉 土蔵(新田)
30. タ 土蔵(新田)
31. タ 石倉(市川)
32. タ 土蔵(南宮)
33. 実測図作成作業 板倉(山王)
34. タ 土蔵(南宮)
35. タ 土蔵(新田)
36. タ 板倉(山王)
37. 資料記録作業
38. 資料調査風景 下張り剥がし作業
39. 同上
40. 発見された水損文書
41. エタノール噴霧
42. 東北芸術工科大学での応急処置
43. 文書復旧システム実施状況
44. 棟札・墨書きされた倉 石倉(市川)
45. タ 梁に掲げられた棟札(タ)
46. タ 板倉(市川)
47. タ 墨書き1(タ)
48. タ 墨書き2(タ)
49. 棟札のある板倉(新田)
50. 倉の写真 石倉1
51. タ 石倉2
52. タ 石倉3
53. タ 土蔵
54. タ 板倉
55. タ 複数の倉1
56. タ 複数の倉2
57. タ 複数の倉3
58. 繁柱板倉
59. タ
60. 郷倉として使われた板倉
61. 「恩賜郷倉」銅製銘板
62. 二重屋根の板倉
63. 平入りの板倉
64. 入り口扉に塗装された板倉
65. 竹垣を廻した板倉
66. 板杭を廻した板倉
67. 破風に化粧された板倉
68. 先祖の名前を入れた鬼瓦
69. 入り口の二重扉
70. 入り口の引き戸
71. 入り口のネズミ返し
72. 装飾された持送りと腕木
73. 木鼻付腕木と枷組
74. 彫刻付持送り
75. 彩色された持送り
76. 倉の鍵
77. 腕木付小窓
78. 倉の見える風景
79. 倉の見える風景(2)
80. 街道に面した板倉
81. 街道に面した板倉(2)
82. 街道に面した倉の風景
83. 街道から見える倉の風景

1. はじめに

当市教育委員会は、これまで30年以上にわたって遺跡の発掘調査報告書を作成してきたが、本書のような被災文化財のレスキュー活動の記録を書くことになるとは、思いもよらなかつたことである。

平成23年3月11日、午後2時46分に宮城県沖を震源とする巨大地震が発生し、さらに太平洋沿岸を襲った大津波により多賀城市内も極めて大きな被害を被つた。これまで誰もが経験したことのない強く長い揺れと予想も出来ないほどの巨大津波により、市域の三分の一が水没し、その地域の工場地帯と住宅が壊滅的な被害を受けた。

市内の小中学校や公民館をはじめとする教育関係施設は、避難をしてきた多くの市民で溢れかえつた。市文化センター内にある埋蔵文化財調査センターも例外ではなく、展示室や整理室にも避難者を受け入れざるを得ない状況であった。当然ライフラインは寸断され、市民生活が壊滅的な状態に陥つた。市の行政機能も完全に中断されて、職員は当分の間災害対策と市民の救援活動に従事することとなつたのである。

その後、およそ1ヶ月過ぎた頃から少しずつではあるが、避難所対応の仕事や災害対策支援窓口業務に従事しながら、本来の業務を再開する時間が取れるようになり、文化財業務もそのころから動き出すことが出来た。

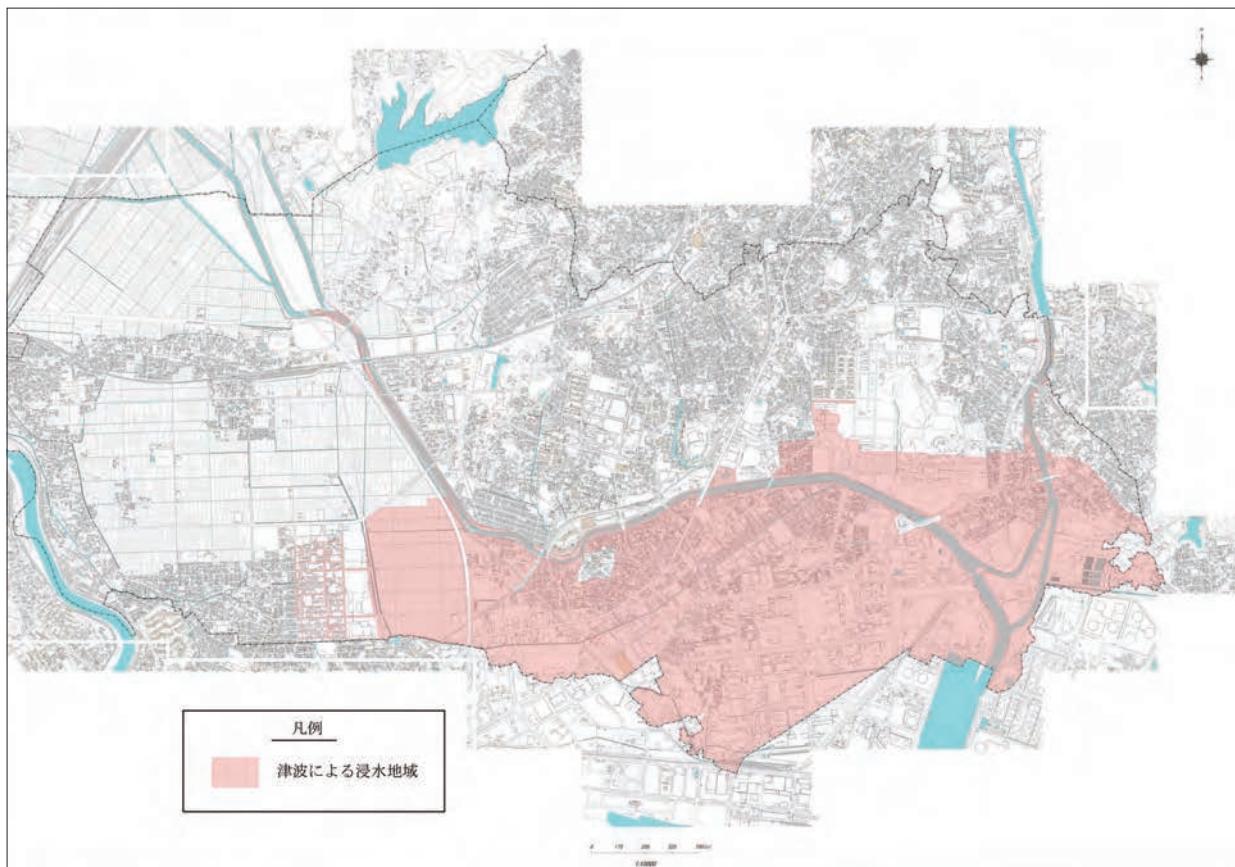
市内の文化財被害状況調査を実施する中、津波被害を受けた八幡地区の倉から歴史資料等が震災ゴミとして捨てられている様子を目の当たりにした。さらに、住宅の後片付け中に文書史料が見つかったとの連絡を受け、行ってみたところ文書には既にカビが生えている状態であった。このまま手をこまねいいると、これまで保管してきた歴史資料が廃棄、散逸してしまう恐れを感じた。

このような状況下にあって、私たちに何ができるのか。今、何をしなければならないか。そのことを考えながら、可能な方法と手段を検討し、被災している倉の実態調査と資料のレスキュー活動に着手することになったのである。本報告は、当市教育委員会文化財課が独自に行った文化財資料のレスキュー活動について、その概要をとりまとめたものである。

多賀城市的被害状況

東日本大震災による多賀城市的被害状況は、以下のとおりである。

- ・震 源 地：三陸沖 宮城県牡鹿半島の東南東約130km付近
- ・規 模：マグニチュード9.0
- ・震 度：5強（多賀城市）
- ・津 波：仙台港7m、市内2～4m
- ・浸水面積：662ヘクタール（市域の約33.7%）
- ・被災世帯：約6,500世帯
- ・被災者数：約15,000人
- ・避難者数：約10,000人
- ・死 者 数：188人
- ・行方不明者：1人



第1図 津波浸水区域図



津波襲来



津波襲来



被害状況写真（国道45号線）



被害状況写真（沖の井）

(1) 市内文化財の被害状況

	名 称	3月11日の被害状況	4月7日余震後の被害状況	特記事項・対応等
国 指 定	多賀城跡	・東門・南門トイレの浄化槽破損。 ・南門トイレの南側石垣に亀裂、屋根瓦破損。 ・作貫四阿の石畳・柱基礎などが破損。 ・作貫覆屋の柱根元が破損。	破損がさらに拡大大久保地区四阿の柱基礎が割れている。また、園路や石階段等で石ずれや陥没等による凹凸を確認。加瀬沼に通じる園路にひび割れ陥没を確認。	園路のひび割れ・陥没は雨水が流入すると崩れる可能性有り。
	多賀城廃寺跡	トイレ内の水タンク内部部品破損。	塔基壇の石階段で石のずれを確認。中門の石階段で陥没を確認。管理棟北側側溝がずれて傾いている。	
	館前遺跡	法面地割れ。	新たな被害はない。	シートで法面を覆う。
	柏木遺跡	未確認。	園路において亀裂等確認。	5月10日南辺西側において、擁壁が陥没し、U字溝が破損している状況を確認。
市 指 定	末の松山	異常なし。	歌碑に傾きが見られる。	
	沖の井（沖の石）	津波により冠水。瓦礫、車両等が流入。	新たな被害なし。	5月2日災害ボランティアとともに清掃実施。
	南安楽寺古碑群	碑2基倒伏。	新たに1基（庚申塔）倒伏。	
未 指 定	歓満不動堂（新田）	碑が倒伏。	傾いていた湯殿山碑が鳥居を破壊して倒伏。6基中4基が倒伏（残存しているのは堂内の2基のみ）。	6月11日、碑が元通りに建てられていることを確認。
	阿弥陀堂（新田）	堂内の地蔵が倒伏。	新たな被害なし。	
	日光院（高崎）	堂内の石碑が倒伏。	新たな被害なし。	
	居家前碑群（八幡）	津波により、碑が倒伏。碑の上に車両がのっている状態。	新たな被害なし。	5月23日、碑が元通りに建てられていることを確認。
	八幡橋袂碑群（八幡）	津波により被災。一部傾き、倒伏の恐れあり。	新たな被害なし。	
	八幡沖地蔵（八幡）	覆屋が津波により損傷・傾いている。地蔵尊等には被害なし。	新たな被害なし。	7月17日、覆屋が補修されていることを確認。
	八幡神社	津波により社殿等が被災。合祀神社や鳥居倒壊。石碑も多数倒伏。		4月6日、石碑にラベルを添付し散逸を防止した。合祀神社である萩原神社の社殿は、6月6日頃解体。
	八幡のまち並み	津波によりほとんどが浸水。	新たな被害なし。	
未 指 定	陸奥総社宮（市川）	外見上被害なし。	建物に一部損傷。	
	多賀神社（市川）	南側の石灯籠が倒壊。	南側石燈籠倒壊（3月11日の地震で倒れなかつた部分）。神社建物が南側に傾いているのを確認。	
	貴船神社（市川）	未確認。	庚申塔が倒伏。	
	荒脛巾神社（市川）	未確認。	境内の燈籠上部がすべて落下。	
未 指 定	貞山運河	護岸が津波により破壊されている。	新たな被害なし。	護岸が全体的に陥没・沈下しており、大潮の満潮時には冠水する。
	塩竈街道	街道沿いのブロック塀が倒壊土蔵等の壁が一部崩落。		
	海軍工廠建物（王子チヨダコンテナー内）	津波により浸水。建物の一部が損傷し、大量の瓦礫流入。	未確認。	事業所の再建により、建物解体。
	海軍工廠建物（陸上自衛隊多賀城駐屯地内）	未確認。	未確認。	自衛隊多賀城駐屯地から、建物が被災しているとの情報を得、5月に現地確認。ほとんどの建物が地震による被害を受けており、危険なため、立ち入り禁止となっている。

(2) 文化財被害状況写真



館前遺跡



多賀城跡作貫地区四阿



八幡神社鳥居



倒壊した萩原神社



荒脛巾神社



沖の井



貞山運河



八幡居家前碑群

2. 被災した文化財への対応

(1) 活動記録

期 日	内 容
3月 11 日	地震発生。
	23時頃 多賀城碑及び覆屋に異常がないことを確認する。
3月 18 日	特別史跡内の被害状況調査を県多賀城跡調査研究所に依頼する。館前遺跡の東斜面に亀裂を確認し、シートで被覆する。
3月 29 日	災害対策本部会議において、瓦礫処理の途中で古文書等が発見された際には、文化財課へ連絡されるよう依頼する。
3月 30 日	多賀城跡被害状況確認。 作貫覆屋・四阿に損傷、東門・南門トイレ浄化槽に亀裂。
4月 1 日～	市内文化財被害状況確認。
4月 6 日	八幡神社周辺の供養碑に注意を促す札を付ける。
4月 7 日	特別史跡内等被害状況確認。
4月 8 日～13 日	4月 7 日の余震にかかる被害状況確認。
4月 14 日	多賀城海軍工廠機銃部機銃発射場建物（以下「機銃発射場建物」と言う。）の被害状況確認。
4月 27 日・28 日	八幡地区の倉の被害状況及び聞き取り調査。
	南宮地区の石倉について、解体されるとの情報を得る。
	南宮地区の板倉について、自宅の解体に伴って解体したい意向を示される。
5月 2 日	災害ボランティアの協力で、沖の井の清掃を行う。
5月 6 日	南宮地区の石倉解体に伴い、資料の寄贈を受ける。
5月 10 日	機銃発射場建物の存続の有無について、所有者に意向確認。解体の方向で進むことを示唆される。
	八幡地区の旧家で水損文書発見。
5月 12 日	埋蔵文化財調査センターへ水損文書搬入、応急措置開始。
5月 13 日	被災文化財レスキュー活動に対する協力要請（市長から県外4市町の首長へ）を行う。
5月 17 日	八幡地区の板倉が解体されるとの情報により、所有者に調査協力をお願ひする。
5月 18 日	陸上自衛隊多賀城駐屯地内の多賀城海軍工廠火工部建物（以下「火工部建物」と言う。）の被害状況確認。
	被災文化財レスキュー活動実施に向けて打合せ。
5月 20 日	史遊館2階の展示室2に、被災文化財レスキュー活動の本部設置。
5月 23 日～6月 29 日	太宰府市・国分寺市・小田原市・三重県明和町の文化財担当職員の協力のもと、倉の存続にかかる意向聞き取り開始。対象地区を八幡・南宮・山王・市川とする。その後、対象地区を市内全域に拡大する。
5月 27 日～7月 1 日	調査協力ボランティア1名参加。
5月 30 日～	聞き取りと並行して、寄贈資料の調査カード作成、写真撮影等開始。
6月 16 日	山形芸術工科大学において、文書の処置方法等について指導を受ける。
6月 23 日	陸上自衛隊多賀城駐屯地内の火工部建物調査について、承諾を得る。
7月 12 日	東北工業大学高橋教授と関西大学永井名誉教授が倉の被災状況視察。
8月 9 日～12 日	東北工業大学高橋教授及び同大学生による、倉の実測調査。
9月 6 日～9 日	
9月 22 日	機銃発射場建物について、解体することとなったとの連絡。
10月 6 日・7 日	宮城学院女子大学飯淵教授・大平教授による機銃発射場建物の視察。
10月 13 日	瓦礫置き場で石碑確認。
10月 27 日	機銃発射場建物について、所有者から調査協力の承諾を得る。
10月 28 日	瓦礫置き場の石碑を多賀城史遊館に移設。
11月 2 日	土木学会文化庁建造物担当者が貞山運河の被害状況を視察。
11月 7 日～14 日	機銃発射場跡の発掘調査実施。
11月 24 日～26 日	東北工業大学小山准教授ほかによる機銃発射場建物の実測調査。
12月 26 日	鳥居及び機銃発射場壁材を、保全のため、市所有施設に搬入。

(2) 活動の様子



被災を受けた供養碑の調査（八幡神社境内）



災害ボランティアによる沖の井清掃後のようす



水損文書発見



埋文センターでの応急処置



海軍工廠建物状況確認（陸上自衛隊多賀城駐屯地）



高橋・永井先生視察



館前遺跡の応急処置



瓦礫置き場から救出された石碑と手水鉢

3. 被災した倉の調査活動の目的と方法

この度の地震と津波による被害が甚だしい地区の倉を中心に、その実態と文化財資料の保全を目的にレスキュー活動を計画し、以下のような目的と方法により実施することにした。

○目的：平成 23 年（2011）3 月 11 日に発生した東日本大震災により地震・津波被害を受けた歴史資料等を救済するため、市内八幡地区、南宮地区、山王地区に所在している板倉、石倉、土蔵等の被害状況の調査及び文書等の歴史資料、民俗資料の保全を図る。

○体制：当市教育委員会文化財課職員と協力員で組織する。（3～4 班体制）

*協力員……県外の文化財担当（専門）職員

○期間：5 月 23 日（月）～6 月 18 日（土）までの 4 週間

○調査内容：下記事項に関する調査を行う。

（1）被災した板倉、石倉、土蔵の調査活動

（2）津波被害等を受けた文書、歴史資料等の保全活動

○レスキュー本部：多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館（愛称「多賀城史遊館」）

【多賀城市の文化財レスキューに対する協力依頼について】

巨大地震と大津波により被災の甚だしい地域を対象として、文化財資料を救出するため、県外の市町村（被災地を除く）文化財担当職員の協力依頼を行った。

協力を依頼する市町村については、市長と相談の上決定し、直接依頼先の首長に電話で連絡をとった。その結果、各首長から快諾を頂いたことから、協力依頼文書を送付し詳細は担当課同士で協議することとした。

・派遣依頼した市町村：福岡県太宰府市、三重県明和町、神奈川県小田原市、東京都国分寺市

・派遣人数：1～2名

・派遣期間：調査期間中の派遣日数については、各自治体の都合に任せることとする。

　　基本的には、1 週間単位とする。

・調査期間：5 月 23 日（月）～6 月 18 日（土）

・宿泊施設：市内のビジネスホテル（申し込みは、各自治体で直接）

・レスキュー本部：多賀城史遊館

・担当課：多賀城市教育委員会文化財課

4. 活動計画と体制について

（1）対象の設定と調査体制

本調査活動の対象としては、特に津波による被害が甚だしい八幡地区と地震により被災している南宮地区、山王地区としていたが、歴史的風致維持向上計画の「塩竈街道に見る歴史的風致」対象地域になっている市川地区も対象とした。

調査内容については、対象地域内にある板倉、石倉、土蔵の被災状況と津波、地震被害を受けた文書、

歴史資料等の把握・保全を中心に行うこととした。

調査体制については、当市教育委員会文化財課職員と協力員で以下のような編成を行って調査に当たることにした。

(2) 計画スケジュールと工程図

活動計画のスケジュールについては、以下のとおりである。

文化財レスキュー活動スケジュール表

班構成	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/1	
A班								
①	瀧川・乾 5/27 →							
②	5/24 高倉・城戸 5/30 →							
B班								
①	高倉・塙田・太田・中島 6/4 →							
②	瀧川・高橋(守)・宮田 →							
③		高倉・中島・宮田 →						
④		高倉・瀧川・高橋(守)・井上・宮田・小野本(6/13~) →						
⑤				高倉・瀧川・宮田・山村(6/17~)・高橋(6/23~) →				
C班								
①	鈴木・武田・村松 →	鈴木・村松・相澤 →						
D班								

5. 活動の記録

この度の文化財レスキュー活動を行うに際し、前項で述べたとおり調査活動の対象区域は、地震・津波被害の甚だしい八幡地区の他3地区に限定して実施していたが、調査が進行するに伴って、特に板倉の構造や形態が特徴的な様相を持っていることが判明した。この際、市域全域を対象として拡大すべきであるとの意見が出され、話し合いの結果、対象を市内全域に変更した。

また、倉の調査内容に関しても、倉の存続に関する所有者の意向調査（解体の有無等）と倉に保管されている所蔵資料の把握に加え、倉の概略図も作成することとした。

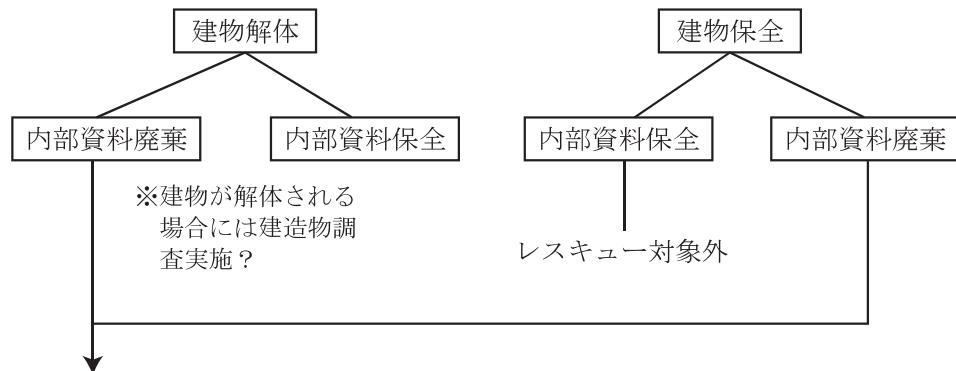
このことは、より詳細な記録を作成することにより、今後の災害に対する資料保全と建造物の保存活用の資料として基本台帳作成につながるものと思慮される。

今回の活動の記録を以下に記しておきたい。

被災文化財保全のための工程図

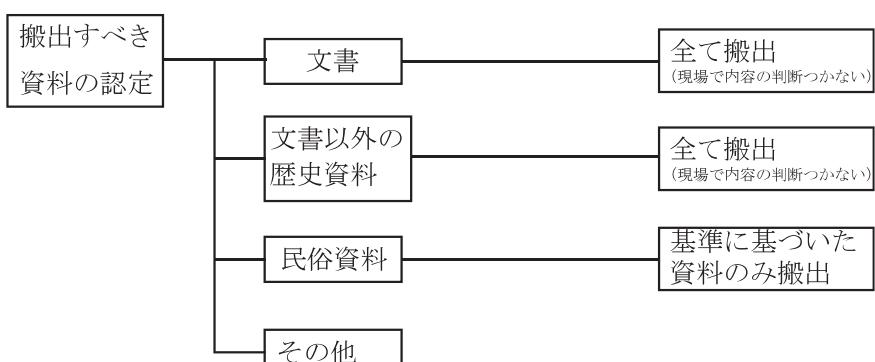
A 被災状況確認班 2班体制…1班2名（市職員+応援職員）

建物の解体の有無と内部資料の廃棄の有無の意向確認



B 調査・搬出班 1班体制…3～4名
(市職員1～2名+応援職員2名)

片付けを手伝いながら資料を搬出



C 保存処理班 1班体制
(市職員2名=文化財課+埋文)

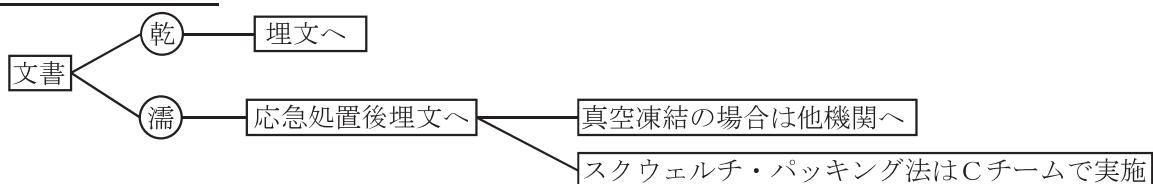
基本は現場で資料確認→応急処理
応急処置後の処置についても協議

台帳作成

D 収蔵・整理・台帳作成班 1班体制

寄贈された資料の台帳化

※文書資料の取り扱い



(1) 調査日誌

- 5月 23日 倉についての聞き取り（八幡地区 15軒、うち不在 6軒）、
水損文書搬入（八幡地区 1軒） 調査員 3名
- 24日 倉についての聞き取り（八幡地区 11件、うち不在 4軒 南宮地区 4軒、山王地区 1軒）
調査員 5名
- 25日 倉についての聞き取り（南宮地区 15軒、うち不在 1軒、山王地区 3件、うち不在 1軒）
調査員 4名
- 26日 倉についての聞き取り（南宮地区 9軒 山王地区 8件、うち不在 1軒） 調査員 4名
- 27日 倉についての聞き取り（市川地区 12軒） 調査員 5名
- 30日 寄贈資料の写真撮影
- 28日 倉についての聞き取り（市川地区 9軒、うち不在 1軒） 調査員 4名
- 31日 倉内部の資料整理、水損資料搬入（八幡地区 1軒） 調査員 7名
- 6月 1日 倉についての聞き取り、倉内部の資料整理、水損資料搬入（八幡地区 1軒） 調査員 7名
- 2日 所在資料の調査、寄贈資料搬入（八幡地区 1軒）
- 3日 倉についての聞き取り（八幡地区 8軒、うち不在 1軒）、所在資料の調査、寄贈資料搬入（八幡地区 1軒） 調査員 7名
- 4日 寄贈資料整理
- 6日 寄贈資料整理
- 7日 倉についての聞き取り（八幡地区 1軒、不在 南宮地区 5軒 山王地区 2軒）、寄贈資料
搬入（八幡地区 1軒） 調査員 3名
- 8日 寄贈資料の整理
- 9日 倉にかかる聞き取り（八幡地区 1軒） 調査員 2名
寄贈資料の整理作業
- 10日 倉についての聞き取り、寄贈資料搬入（高崎地区 3軒 浮島地区 7軒、うち不在 1軒）
調査員 3名
- 11日 倉についての聞き取り（高崎地区 4軒 東田中地区 2軒） 調査員 4名
- 13日 倉についての聞き取り（高崎地区 3軒 東田中地区 4軒 留ヶ谷地区 6軒） 調査員 5名
- 14日 倉についての聞き取り（八幡地区 1軒 新田地区 4軒 高橋地区 5軒） 調査員 4名
- 15日 倉についての聞き取り（八幡地区 2軒 新田地区 7軒、うち不在 1軒）、倉内部の資料整理、
寄贈資料搬入（八幡地区 1軒） 調査員 6名
- 16日 倉についての聞き取り（新田地区 5軒、うち不在 1軒 笠神地区 5軒） 調査員 4名
寄贈資料の整理作業
- 17日 倉についての聞き取り（山王地区 1軒 新田地区 1軒 高橋地区 1軒、浮島地区 1軒、
下馬地区 1件 笠神地区 4軒） 調査員 4名
寄贈資料の整理作業

- 18日 倉についての聞き取り（八幡地区1軒 下馬地区3軒 中央地区1軒）調査員3名
寄贈資料の整理作業
- 20日 倉についての聞き取り・概略図作成（八幡地区14軒、うち不在1軒、南宮地区3軒 山王地区1軒）調査員2名
寄贈資料の整理作業
- 21日 倉についての聞き取り・概略図作成（八幡地区5軒）調査員2名
寄贈資料の整理作業
- 22日 倉についての聞き取り・概略図作成（八幡地区2軒 南宮地区3軒）調査員2名
寄贈資料の整理作業
- 23日 倉についての聞き取り・概略図作成（南宮地区1軒 新田地区1軒）調査員3名
寄贈資料の整理作業
- 24日 倉カードデータ作成
- 27日 倉カードデータ作成
- 28日 倉についての聞き取り・概略図作成（中央地区1軒 山王地区2軒 市川地区2軒）
調査員2名
- 29日 倉カードデータ作成 寄贈資料の整理
- 30日 倉カードデータ作成 寄贈資料の整理
- 7月 1日 倉カードデータ作成 寄贈資料の整理
- 8月 5日 寄贈資料搬入（新田地区1軒）調査員2名
- 25日 寄贈資料搬入（八幡地区1軒）調査員2名
- 10月 12日 寄贈資料搬入（南宮地区1軒）調査員2名、補助員8名、職場体験学習中学生6名
- 13日 寄贈資料搬入（新田地区1軒）調査員2名
- 18日 水損資料搬入（八幡地区1軒）調査員2名
- 11月 17日 寄贈資料搬入（八幡地区1軒）調査員2名

(2) 活動の記録



倉の聞き取り活動のようす



倉の調査のようす



倉の整理作業



倉の整理作業



倉収納の資料整理作業



倉から出された資料の整理作業



水損した文書



水損した文書

6. 調査成果

(1) 倉カードの作成

倉に関する意向調査を行うに当たり、「倉に関する調査カード」を作成して聞き取り調査を実施した。当初、調査対象とした地区の倉件数は、事前の調査により 91 棟の所在が明らかになっていたが、A 班による状況確認調査の結果、6 月 2 日時点で 114 棟の所在が明らかとなった。

さらに、この時点までの調査で、調査対象としていた 4 地区で既に解体又は解体予定されている倉が 11 棟あることが判明した。この後に調査対象を市内全域に変更して状況確認を行った結果、所在が明らかになった倉の総数は、189 棟を数える。これは、当初調査予定していた倉の数の 2 倍に及ぶものである。

倉調査台帳（一覧表）、地区別の倉集計表は、以下のとおりである。

倉カード

査に付する調査カード			
所有者	○○ ○○	電話	No.
住 所	○○○○○○○○		
倉解体の有無	<input type="checkbox"/> 解体する	<input checked="" type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/> 方針不明
倉の時期			
倉の内部資料保全の有無	<input type="checkbox"/> 廃棄する	<input type="checkbox"/> 保存する	<input checked="" type="checkbox"/> 一部保存
倉の種類	<input type="checkbox"/> 板倉	<input type="checkbox"/> 石倉	<input type="checkbox"/> 土蔵
倉の調査への同意の有無	<input type="checkbox"/> 同意する	<input type="checkbox"/> 同意しない	<input type="checkbox"/> 保留
倉の年代	江戸時代		
倉の改築の有無・年代	<input type="checkbox"/> 有り()		
倉の移築の有無・年代	<input checked="" type="checkbox"/> 有り()		
倉の用途	米		
桁行きの規模	5.54 m		
梁行きの規模	3.77 m		
柱の幅	1.2 m		
柱間隔	2.3 m		
所蔵資料の概要			
施	リスト	数量	状 況
屏風	一对	木箱に収納してある	直貼り文書あり
鏡	1	鏡面は玻璃で作成	"
表持	3	外表面黒色、裏面白	黒色表持も車持
その他			
現当主の清一さんで1代目 穂倉・土蔵とも同じ年代で塗り直し			
調査日	平成23年5月3日		
調査者			

不在票

平成 23 年 ○月 ○日
文化財調査に関するお願い
<p>現在多賀城市教育委員会では、先の震災により被災した文化財の状況把握を行っております。具体的には歴史的な建物である倉や、昔の生活道具、墨で書かれた書付などを対象としております。</p> <p>本日調査に伺いましたが、お留守のようでしたので、日を改めまして再度お邪魔したいと思っております。</p> <p>なお、ご在宅の時間などお教えいただければ、その時間にお伺いいたします。連絡先は下記のとおりです。</p> <p>何卒御協力のほど、よろしくお願ひいたします。</p>
平成 23 年 ○月 ○日
連絡先
<p>多賀城市教育委員会文化財課</p> <p>担当 : ○○、○○</p> <p>電話 : ×××-×××-×××</p>

(2) 倉調査台帳(一覧表)

[八幡地区]

所有者番号	住所	倉の種類	年 代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
1	八幡2丁目	石倉	昭和35年頃	する	無し	無し	4.22	3.3	—	—	自在鉤、1斗升、祝い樽、雄蝶、雌蝶、お膳
2	八幡3丁目	石倉	昭和初期	—	無し	無し	5.67	3.89	—	—	無し
3	ク	石倉	昭和初期	—	無し	無し	3.4	2.52	—	—	無し
4	八幡3丁目	板倉	江戸時代後期	しない	—	有り	5.54	3.77	13.5	23	屏風2張(箱入り)
5	ク	土蔵	—	しない	—	—	4.91	3.38	—	—	レコード100枚、手回し電話機、火のし、蓄音機2、糸巻き1、長持掛け2
6	八幡3丁目	板倉	—		無し	無し	4.78	3.15	10~11	33~37	大刀、槍、文書類、書物、教科書類、硯
7	八幡2丁目	石倉	50年以上	しない	—	—	6.23	4.61	—	—	お膳(20~30)食器、家財道具、農具、味噌樽、手あぶり(金属製)
8	八幡2丁目	板倉	明治元年	しない	有り	—	4.69	3.78	12~14	31~33	—
9	ク	土蔵	明治元年	しない	有り	—	4.09	3.39	—	—	—
10	八幡3丁目	石倉	昭和27~28年頃	しない	—	—	3.87	3.87	—	—	—
11	八幡3丁目	板倉	昭和63年	しない	—	有り	4.75	3.8	10	35~38	鍋、釜、桶
12	八幡3丁目	石倉	昭和35~36年	しない	無し	無し	5.92	4.1	—	—	お膳、漆器
13	八幡3丁目	板倉	昭和35年	する	有り	無し	4.78	2.96	12	33	—
14	八幡3丁目	石倉	昭和37年	しない	—	—	4.87	4.6	—	—	—

15	八幡3丁目	石倉	平成	—	—	—	3.86	4.78	—	—	上棟式の道具（昭和45年）、釜、味噌こがわらうち機2、藁打ち、釜敷き、エズコ
16	八幡3丁目	石倉	—	—	—	—	5.9	4.1	—	—	
17	八幡3丁目	石倉	昭和20年代	しない	有り	無し	3.81	3.68	—	—	—
18	八幡2丁目	石倉	昭和27年	—	—	—	5.99	4.22	—	—	
19	八幡3丁目	板倉	—	する	有り	あり	3.76	5.12	11~13	47~56	—
20	八幡2丁目	石倉	大正	しない	—	—	6.6	4.23	—	—	—
21	八幡2丁目	板倉	大正	する	有り (瓦葺き替え)	無し	3.3	4.6	15	32	
22	八幡2丁目	板倉	—	—	—	有り	5.53	3.71	11~12	74~78	—
23	八幡2丁目	石倉	昭和11年	しない	有り	無し	5.61	3.78	—	—	—
24	八幡2丁目	板倉	—	しない	有り	—	5.58	3.8	13~14	16~17	長持
25	八幡2丁目	板倉	100年以上	しない	昭和17・18年	有り	6.45	4.72	14~16	30~32	ハム、機織り、相撲番付、苗かご、大工道具箱
26	八幡2丁目	石倉	—	する	有り (瓦の葺替え)	無し	3.86	2.97	—	—	—
27	八幡2丁目	板倉	昭和11年4月	しない	—	—	3.73	2.84	9~10	51~52	木挽鋸、槍先、べっこうのかんざし、八幡神社流鏑馬の的
28	八幡2丁目	板倉	大正7年頃	—	—	—	5.15	3.78	13	32	ころがし杵、味噌樽、火鉢（銅製）、仮表行列の道具（村から町へなったとき）、棒秤
29	八幡3丁目	板倉		しない	有り (基礎、屋根)	無し	5.58	3.76	12~13	23~25	組臺箱、漆器箱、紋付角盆入れ、角お膳、行李、升（五升、一升）、小形長櫃、文箱（大・中・角・極小）、刀の鞘、黒漆塗お膳、皿、絵皿、長持、引き出し
30	八幡3丁目	土蔵	—	する	無し	無し	5.15	4.07	—	—	火鉢、長持、長櫃
31	八幡3丁目	石倉	50年位？	しない	—	—	6.03	4.22	—	—	お膳（戦前のもの）
32	八幡3丁目	板倉	70年以上	する	—	—	4.66	3.16	11~12	18~20	長持1
33	八幡2丁目	板倉	江戸時代後期	しない	有り (屋根瓦)	有り	4.67	3.78	13	32	赤漆塗りお膳、粉運び器、火鉢（焼き物、銅製）
34	八幡2丁目	板倉	昭和4年旧7月	しない	有り	—	3.75	3.29	11.5	28~35	長持1、釜3、箱入りお膳・お椀、棒秤
35	八幡3丁目	板倉	明治	しない	有り	—	7.73	4.93	11~12	52~53	契約譲関係資料1箱（中に譲の行事で使用する道具が入っている）

【南宮地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
36	南宮字町	土蔵	明治	しない	無し	無し	5.7	3.38	—	—	かご、ざる、桶
37	ク	板倉	明治	しない	無し	無し	5.63	3.76	13	17	屏風（1対、高さ約1.8m、金屏風）
38	南宮字町	板倉	明治	—	—	有り	4.65	3.22	12~15	31~32	つるべ、滑車
39	南宮字町	板倉	—	しない	有り	有り	5.62	3.79	13~15	16~18	—
40	南宮字町	板倉	—	しない	有り	有り	5.6	3.79	13	30~32	—
41	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	有り	5.6	3.46	改造	改造	—
42	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	—	5.6	3.46	13.5	16.5	—
43	南宮字町	板倉	明治末	しない	—	—	5.6	3.78	12	16.5~20	—
44	ク	土蔵	明治	しない	有り	—	5.95	4.17	—	—	諸道具、お膳、ふとん
45	南宮字町	板倉	70年以上	しない	—	—	4.6	3.14	10	27	—
46	南宮字町	石倉	昭和40年代	しない	有り	無し	4.34	3.49	—	—	—
47	南宮字町	板倉	—	—	—	—	4.99	3.16	11~13	17~22	足踏み脱穀機1、長持2、鉄瓶1、自転車（古い）1

48	南宮字町	石倉	昭和 50 年以前に建てた	しない	有り	—	4.18	3.28	—	—	長持、蓄音機、米櫃、琴、火鉢
49	南宮字庚申	土蔵	昭和 63 年頃	しない	無し	無し	4.65	3.85	—	—	—
50	南宮字町	板倉	大正	しない	有り	有り	5.6	3.8	12~15	14~18	火鉢、冠婚葬祭、祝い樽、杯、長持
51	南宮字町	石倉	明治 26 年	する	有り	—	7.46	4.72	内部柱幅 14~15	46	—
52	南宮字町	板倉	100 年以上	しない、 有り (瓦葺 替え)	—	—	5.62	3.81	13~16	15~17	—
53	ク	土蔵	—	しない	—	—	3.9	3	—	—	—
54	南宮字町	土蔵	—	しない	—	—	5.33	3.48	—	—	—
55	南宮字町	板倉	—	する	—	—	5.58	3.38	13	17	—
56	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	無し	5.23	3.81	12~14	11~14	乗馬用鞍、風車、一斗升、石臼
57	南宮字町	板倉	—	—	—	—	5.63	3.75	9~11	20.5~ 22	—
58	南宮字町	土蔵	明治 8 年	する	無し	無し	5.66	4.3	—	—	—
59	ク	土蔵	江戸 (嘉永 5 年)	する	無し	無し	5.9	4.43	—	—	—
60	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	—	5.59	3.8	11~13	24~25	—
61	南宮字町	石倉	—	しない	—	—	4.78	3.88	—	—	—
62	南宮字町	石倉	昭和 30 年代	しない	有り	無し	7.88	3.33	—	—	—
63	南宮字町	板倉	昭和 23 年	しない	有り	—	5.58	3.82	12	18	米を量る升
64	南宮字町	板倉	—	しない	有り	無し	5.59	3.75	12~13	17~18	一斗升、お膳
65	南宮字町	板倉	100 年位	しない	—	—	5.58	3.82	17	33or18	ころがし棒、升
66	南宮字町	板倉	明治	しない	無し	無し	5.59	3.76	10.5	22.5	—
67	ク	板倉	明治	しない	無し	無し	3.16	3.76	13	17	—
68	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	—	4.66	3.18	11.5~ 13.5	18~19	—
69	南宮字町	板倉	50 年以上	しない	有り	—	5.46	3.79	10~12	30	—
70	南宮字町	板倉	昭和 46 年	しない	—	有り	5.61	3.81	14~16	16	升、かご
71	南宮字町	板倉	—	しない	有り	—	5.63	3.81	11~12	18~19	長持 2、お膳、おか炉
72	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	無し	5.575	3.75	11~15	10~18	火鉢、俵編み機、長持、冠婚葬祭用具一式、馬車のカジ棒
73	南宮字町	板倉	—	しない	有り	—	5.53	3.6	13	32	唐箕、肥樽
74	南宮字上南宮	板倉	昭和 32 年頃	しない	無し	無し	4.65	2.85	10~12	正面 18~19 その他 35~36	箕

【山王地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
75	山王字東町浦	板倉	江戸 (文久 4 年)	する	—	有り	5.59	3.89	15	15	—
76	山王字東谷地中	板倉	100 年位	しない	有り	—	5.61	3.8	11	34	わらで編んだおひつ入れ
77	山王字東谷地中	板倉	100 年位	しない	—	—	3.14	2.25	11	41	お膳、火鉢
78	山王字前田	板倉	明治	しない	有り	無し	6.5	4.65	13~15	17~18	お膳、冠婚葬祭一式
79	山王字中山王	板倉	明治 17 年	しない	有り	有り	4.95	3.5	11~14	29~34	蚕かご、笊、一斗升、鞍
80	山王字東町浦	板倉	昭和初期	しない、 有り (元は檜皮葺き)	有り	有り	5.62	3.79	12	33	ころがし棒、棟上げ式の風車
81	山王字東町浦	板倉	—	しない	—	有り	3.74	2.83	10	37	—
82	山王字東町浦	板倉	昭和 5 年	しない	有り	—	5.85	4.86	12~14	35	種糲を浸す樽
83	ク	板倉	ク	しない	—	—	3.75	2.85	10	36	—
84	山王字中山王	板倉	—	しない	—	—	5.75	3.8	12~14	28~29	—
85	山王字東町浦	板倉	明治	しない	有り	無し	5.15	3.8	13	30.5	—

86	山王字西町浦	板倉	100年以上	しない	有り	—	5.59	3.7	12	19	—
87	山王字中山王	板倉	大正	する	—	有り	4.58	3.31	12.5～14.5	18～20	一斗升、唐箕
88	山王字干刈田	板倉	100年近い	しない	—	—	5.59	3.76	9～13	19	棒秤、臼、杵
89	山王字毛上	石倉	昭和34年	しない	—	—	5.24	3.85	—	—	—

【市川地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
90	市川字丸山	板倉	昭和20年頃	しない	有り	無し	5.7	3.7	9	50～60	馬牛耕用すき
91	ク	土蔵	明治	しない	—	—	4.98	4.23	—	—	茶摘箱2、ちきり1升、銅火鉢1、乗馬用鞍1、長持1、屏風複数
92	ク	土蔵	明治	しない	有り	—	4.48	3.27	—	—	—
93	市川字城前	土蔵	明治	しない	有り	無し	6.78	4.07	—	—	味噌樽10、水甕2、蒸かし器2、扇風機1、自在鉤1
94	ク	板倉	明治	しない	有り	無し	5.59	3.77	12～14	17～18	タンス2、長持2、桶3
95	市川字五万崎	板倉	4代前位	しない	無し	無し	5.65	3.79	13	33	長持2
96	ク	板倉	4代前位	しない	有り	無し	4.64	2.38	10.5	34	長持、お膳、生活道具多数
97	市川字坂下	板倉	江戸(文久3年)	しない	有り	無し	4.685	3.17	12～14	25～32	—
98	市川字五万崎	石倉	昭和	しない	無し	有り	5.69	3.94	—	—	木挽鋸、手斧
99	ク	土蔵	明治頃	する	なし	なし	5.6	3.9	—	—	—
100	市川字五万崎	板倉	不明	不明	無し	有り	4.66	3.16	11	50	銅なべ、自在鉤、カーバイトを燃やすランプ、天秤秤、生活道具多数
101	市川字坂下	板倉	明治	しない	有り	無し	5.58	4.54	15～18	22	—
102	ク	板倉	明治	しない	有り	無し	5.58	3.81	15～18	30	—
103	市川字奏社	板倉	—	不在のため不明	—	—	5.6	3.95	11～15	18～20	—
104	ク	板倉	—	不在のため不明	—	—	4.67	3.33	12～13	33	—
105	市川字大畠	板倉	—	しない	有り	無し	5.6	4.25	12～14	31～33	—
106	ク	土蔵	昭和	しない	有り	無し	7.78	4.45	—	—	—
107	市川字作貫	石倉	昭和17年	する	有り	無し	5.52	4.2	—	—	足踏脱穀機、馬の荷鞍、あぶみ、什器、万石通し
108	市川字奏社	板倉	—	不明	—	—	4.72	2.97	13	12～13	—
109	ク	板倉	—	不明	—	—	3.75	2.98	11	12	—
110	市川字丸山	土蔵	大正4年	する	—	—	4.9	4.12	—	—	—
111	ク	板倉	昭和23年	しない	—	—	3.77	3.15	10～12	20～30	生活道具、農薬、文書
112	市川字伊保石	板倉	不明	不明	有り	有り	4.7	3.3	11～12	30～40	—
113	市川字五万崎	板倉	大正	しない	有り	有り	5.53	3.75	13～14	15～19	長持、燈台
114	市川字大畠	板倉	不明	しない	無し	有り	5.8	4.7	14	19～20	竹行李、張り板、乗馬用鞍
115	市川字奏社	板倉	不明	する	—	—	5.13	3.33	12～13	32～34	石臼、樽、箕
116	ク	板倉	不明	不明	有り	無し	3.1	2.1	10～12	23～24 南妻39	乗馬用鞍
117	市川字坂下	板倉	—	しない	無し	無し	5.64	3.83	12	34	—
118	市川字立石	板倉	江戸(天保6年)	する	—	有り	4.77	3.77	13～14	31～33	お膳、木櫃、荷札、唐箕
119	市川字城前	板倉	江戸	しない	有り	無し	5.58	3.77	11～14	32～33	火鉢、水瓶、鉄びん、升、茶釜、臼2
120	市川字五万崎	板倉	明治22年	しない	有り	無し	6.5	4.71	16	29～30	桶
121	ク	土蔵	明治元年?	しない	有り	無し	4.85	3.32	—	—	味噌樽多数

【浮島地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
122	浮島字沢前	板倉	50年以上	しない	—	—	3.32	2.41	12	11~18	—
123	浮島字西沢	板倉	不明	しない	有り	無し	4.8	3.1	11~13	13.5~26	唐箕、せいろ、甕、牛乳缶
124	浮島2丁目	板倉	大正	しない	有り	有り	5.86	3.02	10.5	35~41	—
125	浮島字後山	板倉	明治	しない	有り	—	5.65	3.78	12~14	22~24	—
126	浮島2丁目	石倉	昭和46年	する	無し	無し	5.2	4.28	—	—	—
127	浮島字西沢	板倉	—	しない	—	—	5.6	3.79	14~15	13.5~18	—
128	浮島2丁目	板倉	明治	しない	有り (屋根、基礎)	無し	5.65	2.85	12	33.5~35.5	—

【高崎地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
129	高崎1丁目	板倉	不明	しない	有り	無し	5.58	3.74	10~13	33~35	—
130	高崎2丁目	板倉	明治~大正	しない	無し	無し	6.23	3.79	13~14	21~23.5	—
131	ク	土蔵	明治	しない	無し	無し	5.83	3.79	—	—	長持、冠婚葬祭用具、屏風、書籍類
132	ク	土蔵	不明	しない	—	—	3.86	3.34	—	—	甕、水車(大・小)、行李、火鉢、石臼、堅杵、鉄瓶、送風機
133	高崎1丁目	板倉	昭和48年	しない	無し	無し	5.54	3.78	13.5~16	14~18	—
134	ク	板倉	明治以前	しない	有り	有り	5.6	3.8	13~16	14~17	—
135	高崎1丁目	板倉	大正14年	しない	有り	無し	5.63	4.69	11~15	32.5~34.5	長持、自在鉤、仙台箪笥、箱膳、足踏脱穀機
136	高崎1丁目	板倉	不明	しない	無し	無し	5.62	3.78	13~15	21~24	—
137	高崎2丁目	板倉	明治元年	しない	有り	—	5.65	3.87	15	15.5~17	お膳、什器箱(「高須賀屋菊藏」の墨書きあり)、豆を煮た釜、糸巻き機、長持
138	高崎2丁目	板倉	明治	しない	有り	無し	5.41	3.71	14	16.5~20	箕、飯盒、長持、洗濯桶、張り板、箪笥、蚊帳、納屋戸板と屏風
139	高崎2丁目	板倉	明治	する	有り	有り	4.3	3.05	10~11	23.5~29	—
140	高崎2丁目	板倉	100年以上	しない	有り	無し	5.52	3.68	14	20~21	—
141	高崎2丁目	板倉	100年位	しない	有り	無し	5.38	3.76	12~15	17.5~19	お膳、木のお弁当箱(田んぼで使う)

【高橋地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
142	高橋5丁目	板倉	明治25年	しない	有り	有り	5.62	3.8	13~14.5	31.5~33	長持1、車付き長持1、機織り機1、農具一式
143	ク	板倉	明治9年 子年旧3月3日	しない	有り	有り、自宅西から移築	4.73	3.9	12~13	32.5~33.5	味噌樽
144	高橋1丁目	板倉	明治初め	しない	—	有り	5.6	3.8	12	35	江戸~明治教科書類
145	高橋2丁目	石倉	昭和36~37年	しない	有り	無し	4.9	3.92	—	—	—
146	高橋1丁目	板倉	明治32年	しない	有り	—	5.6	3.78	14	30.5~32.5	—
147	高橋2丁目	石倉	昭和37~38年	しない	有り	無し	5.98	4.2	—	—	—
148	高橋2丁目	石倉	不明	しない	有り	無し	5.69	3.89	—	—	—

【新田地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年 代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
149	新田字六歳	板倉	昭和 23 年	しない	有り	—	5.61	3.79	11~15	20.5~25	—
150	新田字北関合	板倉	明治 25 年	する	有り	有り	5.62	3.81	13~14.5	31~34	長持、自在鉤、カゴ、火鉢、樽、唐箕
151	新田字北関合	板倉	不明	しない	有り	無し	4.7	3.3	13.5~16	23.5~33	秤(棒)
152	〃	土蔵	不明	する	—	—	6.66	4.4	—	—	乗馬用鞍、甕、徳利、茶釜、木鉢(漆塗り)、糸摘み機 2、糸巻き機
153	〃	石倉	不明	しない	無し	無し	9.5	4.04	—	—	昭和 27 年の嫁入り家具(仙台箪笥 2、長持 1、漆器杯、漆器椀、漆器お膳)
154	新田字南関合	板倉	江戸(弘化 4 年以前)	しない	有り	有り	5.83	3.81	12~13.5	32~50	—
155	新田字北関合	板倉	明治 14 年	しない	有り	無し	5.47	4.03	13~14	22.5~26	—
156	新田字南安楽寺	板倉	江戸	しない	有り	無し	5.59	3.3	13	32	—
157	新田字西後	板倉	昭和 32 ~ 33 年	しない	無し	無し	4.68	3.16	11.5~13	25~26.5	一斗升
158	新田字南安楽寺	板倉	昭和	しない	有り	無し	4.67	3.8	11~12	35	—
159	新田字六歳	板倉	昭和	しない	無し	有り	6.52	4.7	11~15	23~27	—
160	新田字西後	板倉	昭和	しない	有り	—	3.74	3.12	11	18.5~19.5	一斗升
161	新田字北安楽寺	板倉	明治 3 年	しない	有り	有り	3.8	2.88	13~15.5	9	一斗升、五升升、秤
162	新田字南安楽寺	板倉	昭和	しない	無し	無し	3.75	2.32	10~11	33.5~41	—
163	新田字袋	板倉	江戸	しない	—	有り	5.63	3.8	15~17	31	唐箕 1、一斗升 1、長持 1
164	新田字熊ノ田	板倉	昭和 26 年	しない	無し	無し	5.62	3.8	14	20~24	一斗升 1、通徳利 1 (酒または油)、折衷猪苗代用網
165	新田字北関合	板倉	明治?	しない	有り	有り	4.68	3.16	10.5	35	—
166	新田字関合	板倉	—	しない	—	有り	4.98	3.45	16.5	32	一斗缶 1、竹箕 1

【留ヶ谷地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年 代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
167	留ヶ谷 1 丁目	板倉	大正 5 年	しない	有り	有り	5.59	4.13	11~11.5	18.5~21.5	乗馬用鞍、太鼓(小)、小火鉢、大鋸、箕、滑車、糸運び道具、一斗升、長持、仙台箪笥、衝立、屏風(6曲裏張り)、文箱、壺(楕円形、蓋付き)、オカ口、笊 2、火鉢、壺、小机
168	留ヶ谷 1 丁目	板倉	明治 40 年	しない	無し	無し	5.59	3.8	13~14	32~32.5	長持(車付き) 1、長持 1、斗升 1、お膳 20、棒秤
169	留ヶ谷 2 丁目	板倉	明治	しない	有り	有り	5.6	3.8	12~14	31~33.5	—
170	〃	板倉	不明	しない	有り	—	5.625	3.78	10~11	20~20.5	—
171	留ヶ谷 2 丁目	板倉	明治	しない	有り	有り	4.86	3.18	12~13.5	36~39.5	クラ(重箱用)、大秤、ミノ、轡、軍用砲、ちょうちん箱(天満宮)、太鼓、自在鉤、ムシロぶち、長持、千歛こき、模、トランク、お茶入り道具
172	留ヶ谷 2 丁目	板倉	—	しない	有り	有り	4.68	3.14	8~10	26.5~30.5	ウナギド、ドウジョウド、滑車、トウミ
173	留ヶ谷 1 丁目	石倉									

【下馬・伝上山地区】

番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
174	下馬5丁目	土蔵	不明	しない	有り	—	6.55	3.86	—	—	—
175	下馬3丁目	板倉	明治	しない	有り	無し	6.5	3.8	13~14	16	千歯こき、杵(大・小)、三又鍬、長持2、糸巻き、蚕籠、天秤ばかり、お茶作り道具
176	下馬4丁目	板倉	不明	しない	—	無し	6.46	4.66	12~13	19~23	屏風(下張りあり)、お膳、お椀、甕、鉄がま、長持2、簾笥、箕
177	伝上山3丁目	板倉	不明	しない	有り	無し	8.19	3.77	11~12	18~19	唐箕、お茶用具、送風機、味噌樽、じやばら

【笠神地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
178	笠神1丁目	板倉	明治元年	しない	有り	有り	5.06	2.87	13	26~38	—
179	笠神1丁目	板倉	昭和17年	しない	有り	有り	4.8	3.45	13.5	20.5~22	—
180	〃	土蔵	不明	しない	有り	無し	5.05	4.08	—	—	お膳、長持、漆器類
181	笠神1丁目	土蔵	昭和18年	しない	有り	無し	5.46	4.89	—	—	—
182	笠神1丁目	板倉	昭和17年	しない	有り	無し	5.6	3.76	14	18	長持
183	笠神1丁目	板倉	大正	しない	—	有り	5.59	3.76	12	24.5	—

【東田中・中央地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	桁行き規模(m)	梁行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
184	東田中1丁目	板倉	昭和26~27年頃	しない	無し	無し	5.35	3.79	12	17~21	—
185	東田中1丁目	板倉	不明	しない	無し	無し	5.58	3.77	12	18~20	臼(倉の前)
186	東田中2丁目	土蔵	100年超えている	しない	有り	—	6.38	3.9	—	—	長持、ころがし杵、送風機
187	東田中2丁目	板倉	江戸(弘化2年)	しない	有り	—	5.79	3.85	12	33~77	簾笥、角樽、長持
188	東田中1丁目	石倉	昭和50年頃	しない	無し	無し	5.73	3.96	—	—	お膳、皿類
189	中央1丁目	板倉	不明	しない	有り	有り	6.41	4.75	13~15	22~25	長持、乗馬用鞍(日清戦争時のもの)、肥樽、籠、箕、平家物語(12巻)

倉調査集計表(地区別)

地区名	軒数	棟数	内訳			備考
			板倉	土蔵	石倉	
八幡	32	35	17	3	15	複数倉3軒
南宮	32	39	27	7	5	〃 7軒
山王	12	15	14	0	1	〃 3軒
市川	20	32	23	7	2	〃 11軒(うち1軒が3棟)
浮島	7	7	6	0	1	
高崎	10	13	11	2	0	〃 2軒(うち1軒が3棟)
高橋	6	7	4	0	3	〃 1軒
新田	16	18	16	1	1	〃 1軒(3棟)
留ヶ谷	6	7	6	0	1	〃 1軒
下馬	4	4	3	1	0	伝上山地区を含む
笠神	5	6	4	2	0	複数倉1軒
東田中	6	6	4	1	1	中央地区を含む
合計	156	189	135	24	30	

解体された倉の写真



板倉（新田）



土蔵（新田）



石倉（市川）



土蔵（南宮）

（3）倉の実測図作成調査

震災によってやむなく解体又は解体予定されている倉は、20棟に及ぶことが明らかとなった。その内訳は板倉9棟、石倉5棟、土蔵6棟であるが、聞き取り調査時点で解体するかどうか方針が決まっていないお宅もあることから、これ以外にも解体される倉が生じる可能性もあり、解体される倉については実測図を作成することとした。

実測図作成調査は、東北工業大学工学部の高橋恒夫教授にお願いし、第1次調査と第2次調査に分けて実施した。以下にその内容を簡単に記録しておきたい。

—調査内容—

・調査期間：(第1次調査) 平成23年8月9日(火)～12日(金)

(第2次調査) 平成23年9月6日(火)～9日(金)

・調査者：高橋恒夫(東北工業大学工学部教授)

同大学院生・学生

渡辺亮、日野裕基、豊田瑠美、高橋佐保里、大友千尋、橋本千秋、後藤友希、新林慎平、

関根怜志、東海林洪介、佐々木翔多

・調査立会：高倉敏明(市文化財課)

・調査内容：平面図、断面図、立面図、配置図の作成

・調査対象の倉：一覧表のとおり

実測図作成作業



板倉



土蔵



土蔵



板倉

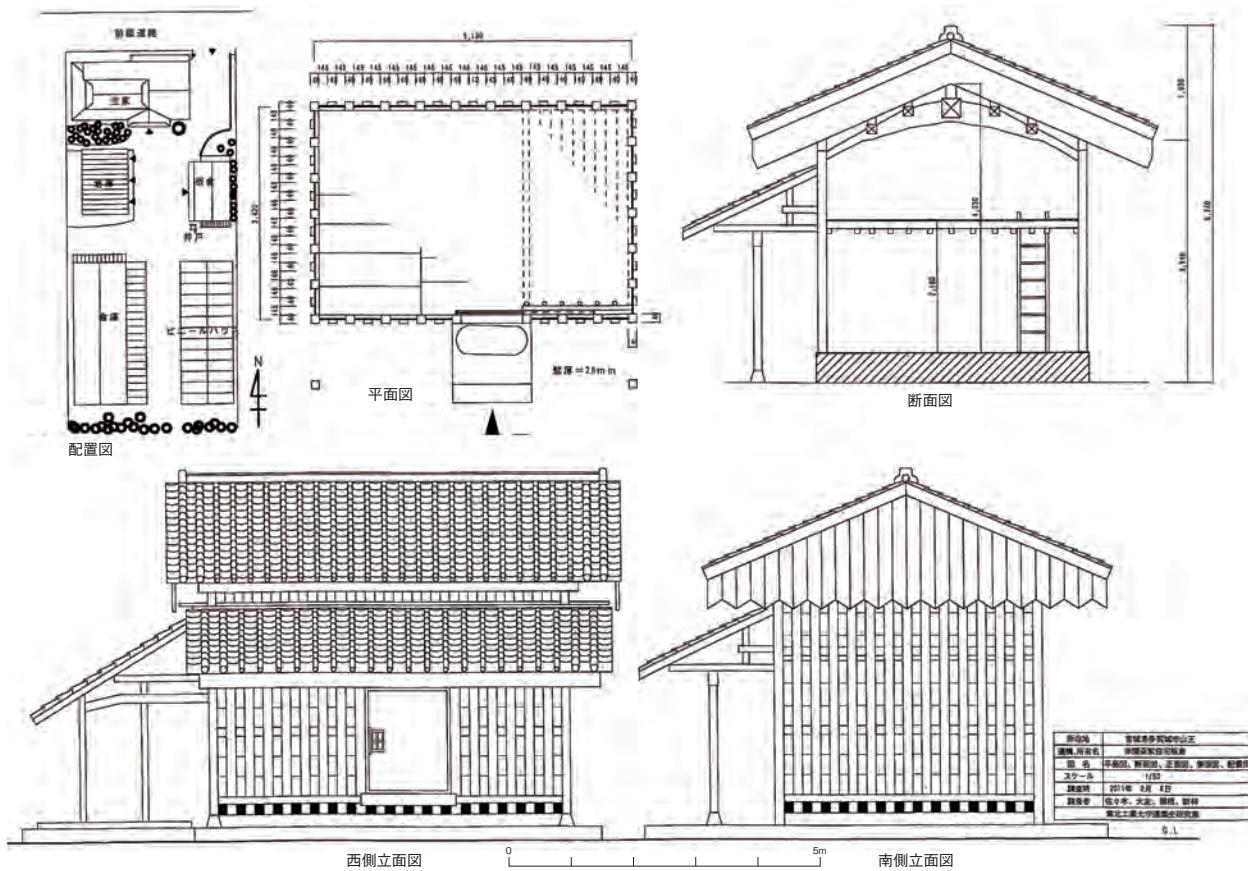
実測図を作成した倉一覧

(調査期間 第1次：8月9～12日 第2次：9月6～9日)

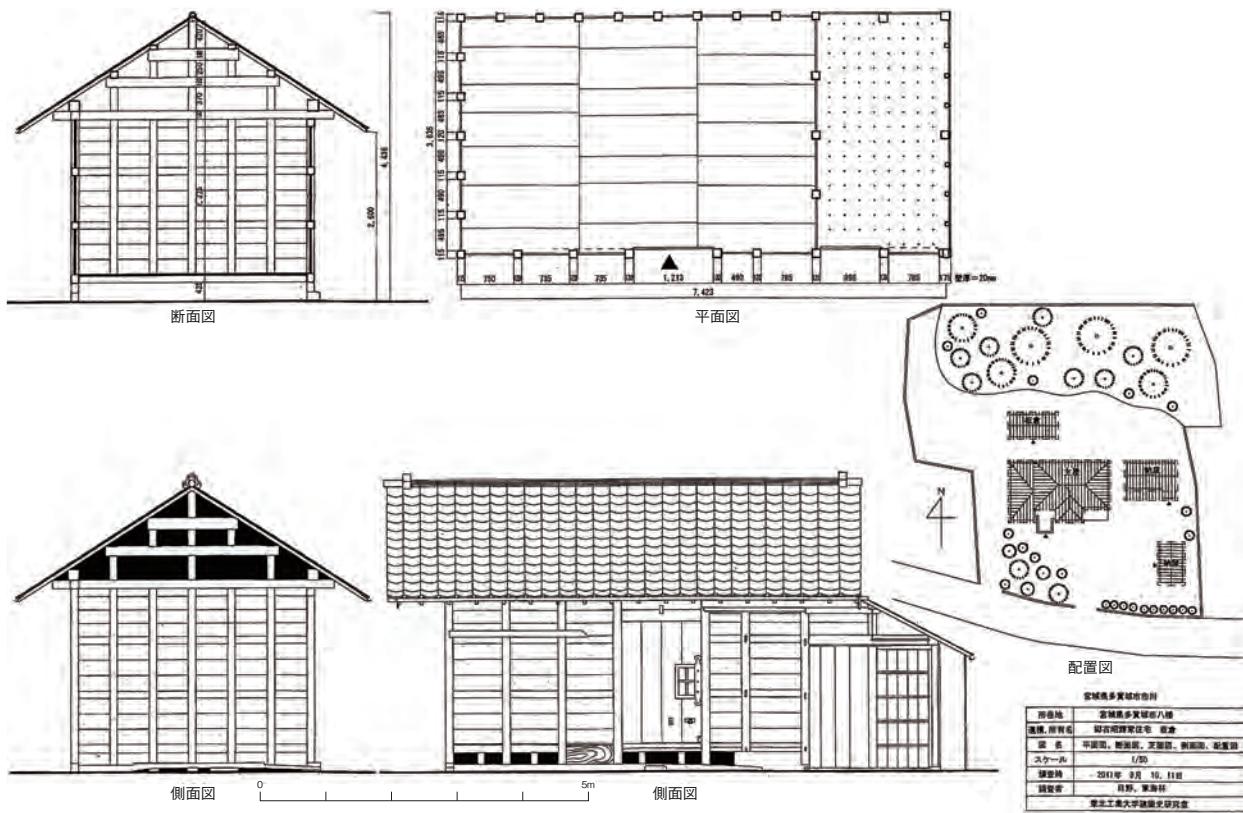
調査番号	所有者番号	地 区	種 別	時代（年代）	備 考
1-1	30	八幡	土蔵		津波被害（解体）
1-2	32	八幡	板倉		津波被害（解体）
1-3	6	八幡	板倉		津波被害
1-4	22	八幡	板倉		「恩賜郷倉」
1-5	18	八幡	石倉		
1-6	26	八幡	石倉	昭和35年（登記簿）	津波被害（解体）
1-7	75	山王	板倉	江戸（文久4年）	（解体予定）
1-8	87	山王	板倉	大正	（解体） 「大正七年 十三俵」の墨書あり
1-9	55	南宮	板倉		
2-1	107	市川	石倉	昭和17年	棟札あり（解体終了）
2-2	118	市川	板倉	江戸（天保6年）	墨書あり（解体）
2-3	97	市川	板倉	江戸（文久3年）	墨書あり
2-4	92	市川	土蔵		（修理）
2-5	115	市川	板倉		（解体）
2-6	120	市川	板倉	明治22年	墨書あり

2-7	126	浮島	石倉	昭和46年	(解体)
2-8	37	南宮	板倉	(明治)	
2-9	36	南宮	土蔵	(明治)	(修理)
2-10	58	南宮	土蔵	明治8年	記録あり(解体)
2-11	59	南宮	土蔵	江戸(嘉永5年)	記録あり(解体)
2-12	152	新田	土蔵		(解体)
2-13	150	新田	板倉	明治25年	課税台帳
2-14	154	新田	板倉	江戸(弘化4年)	墨書あり
2-15	143	高橋	板倉	明治9年	墨書あり
合計	24棟			(内訳) 板倉:14棟、石倉:4棟、土蔵:6棟	

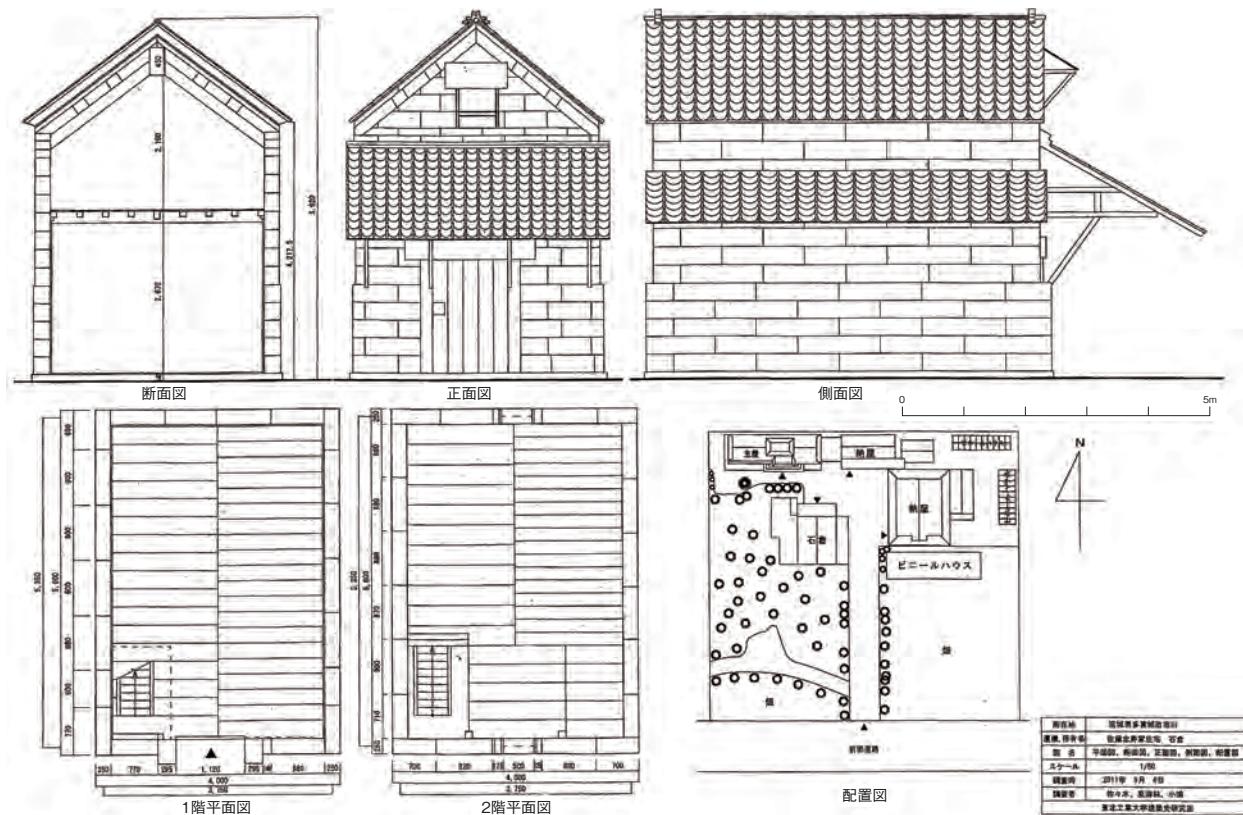
*実測図(参考図)



第2図 板倉実測図



第3図 板倉実測図



第4図 石倉実測図

(4) 資料カードの作成

このたびの東日本大震災に伴ってレスキューの対象とした資料の大部分は、倉から搬出したものである。資料数は少ないが、母屋・納屋などからのものもある。

現地での資料調査は、原則として次のような手順で実施した。まず蔵等からすべての資料を外に運び出し、資料の被災の状況を確認した。つぎにはこりや泥の除去、水分を含んでいる資料の水分の除去などの可能な応急処置を施すとともに記録写真や簡易のメモを作成した。そして所有者との協議を行いながら所有者が手元に置く資料と寄贈する資料とに仕分けを行い、寄贈資料については多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館（愛称：多賀城史遊館）に搬入した。

搬入した資料は可能な限り汚れ等を取り除きつつ本来の姿に復元し、仮登録カードと仮資料カードの作成及び写真撮影を行い、分類しながら多賀城史遊館内の収蔵庫内に収納した。ふすまや額などで保存状態の良くない資料については、下張りまで剥がし、枠とふすま紙・書画、下張りに分けて保存した。

その後、正式な資料登録カード（第5図）と資料カード（第6図）及び寄贈資料一覧表を作成し、プリントアウトして登録カードと資料一覧表は台帳に保存し、資料カードは当該資料に添付した。さらにはそれらのデータは、ハードディスクにデジタル保存とともにバックアップとしてCD-ROMにも保存した。登録に当たっては、所有者の姓と番号を組み合わせ、姓が同じ場合は名の最初の文字を加えた（例：A (a) 001）。資料同士で関連するものについては同一番号とし、ハイフン番号を付した（例：ふすまの場合・・・ふすま紙 (B 001-1)、枠 (B 001-2)、下張り文書 (B 001-3)）。また、資料の分類に当たっては、多賀城市埋蔵文化財調査センターで用いている宮城馨太郎編「民俗資料調査整理の実務」を参照とした民俗資料の分類基準に従った。なお、個人名が容易に特定できる情報は、本報告書上では割愛している。

レスキューした資料は、14名の所有者から3,489点に及び登録数は844である。登録数と資料数が一致しないのは、たとえば書籍の「読史餘論」12巻の場合には登録数を1とし、資料数を12としたためである。資料を分類コード別に整理したのが第7図である。最も多かったのは大分類11その他である。資料数が2,575点で、全資料の73.8%を占める。次いで大分類1衣・食・住で、大分類2生産・生業、大分類9人の一生（通過儀礼）が続く。衣・食・住は資料数が580点で、全資料の16.6%を占める。生産・生業は115点で全資料の3.3%、人の一生が112点で3.2%を占めている。このほかには、資料数は少ないが、大分類3交通・運輸・通信、大分類4交易、大分類5社会生活、大分類6信仰、大分類7民俗知識、大分類8民俗芸能・娯楽・遊戯等があった。しかし、今回のレスキューでは、大分類10年中行事資料は皆無であった。

次に資料数の多かった大分類11・1・2・9について、小分類に視点を当てて資料内容をみると以下のようにになっている。最も多かった大分類11その他をみると、(J) 古文書・記録・文書・日誌類と(G) 書籍・雑誌・新聞類が圧倒的に多く、(C) 封書・絵葉書類、(A) 写真・写真帳が続く。大分類1では、食関係の(I) 飲食器が最も多く、衣関係の(D) 戰時関係資料、住関係の(D) 家具・調度が続く。大分類2では、染・職関係の(C) がほとんどを占め、大分類9では、通過儀礼関係の(F) 婚礼用具がほとんどを占める。

ふすまや額などの下張りとして使用されていた文書類が数種類あった。そのうち、版本で印刷された軍記物に関しては、多賀城市埋蔵文化財調査センターボランティア（略称：埋文ボランティア）の協力

を得て解読を行った。その他の筆書きによる文書については、宮城学院女子大学 J.F. モリス教授の指導を受けつづけ解読を実施している。

文化財レスキュー資料		登録番号	K 001-1		
資料名	ふすま(紙)			資料数	1
分類	大	1	中	(3)	小
				(D) 家具・調度	
寄贈者名	K			収藏年月日	2011/05/31
特記事項	下貼りあり。K 001-3~10 で登録。			使用年代	不明

第 6 図 資料カード

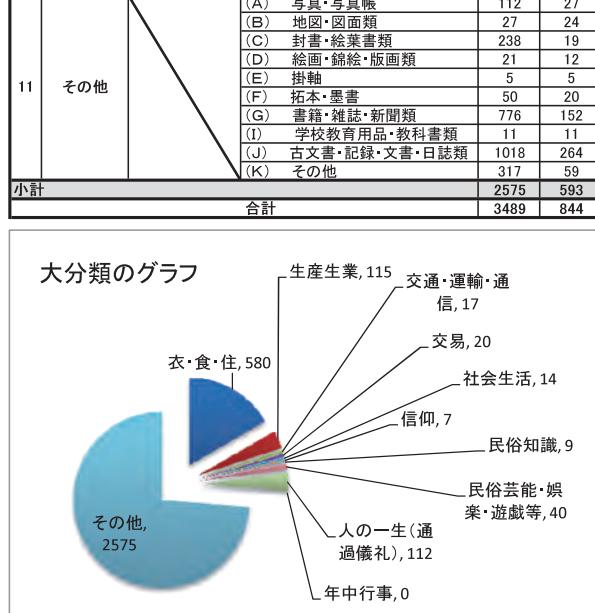
文化財レスキュー資料登録カード					
登録番号	K 001-1				
資料名	ふすま(紙)			寄贈・委託・所蔵	西館
収藏場所	史跡館 第1段壁面		上部	下部	収藏年月日 2011/05/31
分類	(大)	1	(中)	(3)	(小)
寄贈者名	K T E L				
住 所					
使用年代	不明		資料所在場所	板倉	
資料の内訳・内容	ふすま紙は状態が悪く、実物はなし。				
由来・伝承・製作情報等					
備考					
写真 1	写真 2				
測定値・測定箇所	縦幅	!	資料数	!	一把資料(抽出)
大きさ	高さ(cm)		横(cm)	91	形状他
	長さ(cm)	1705	重さ(g)		
調査者	○○ 調査日 2011/12/18				

第 5 図 資料登録カード

分類コード別一覧表

大分類		中分類		小分類		資料数	登録数
1	衣・食・住	(1) 衣	衣	(A) 服物	23	3	
				(B) 結髪・化粧道具	6	4	
				(D) 戰時関係	84	27	
				(E) その他	26	6	
		(2) 食	食	(B) 贯藏用具	5	2	
				(C) 炊事用具	15	9	
				(D) 調理・調整具	5	3	
				(E) 保存・加工具	2	2	
				(F) 酿造・製造用具	1	1	
				(G) 嗜好品用具	46	8	
		(3) 住	住	(I) 飲食器	253	33	
				(J) その他	39	7	
				(B) 住居	1	1	
				(D) 家具・調度	67	42	
				(F) 建築習俗用具	1	1	
				(G) 防護用具	1	1	
				(H) その他	5	5	
小計					580	155	
2	生産生業	(1) 農耕	農耕	(C) 収穫・調整用具	2	2	
				(E) その他	9	4	
				(G) その他	1	1	
		(2) 山樵	山樵	(A) 飼育用具	1	1	
				(B) 織糸用具	3	3	
		(7) 染・職	染・職	(C) 機織り用具	90	11	
				(F) 製品	6	1	
				(H) その他	2	2	
				(B) 細工用具	1	1	
小計					115	26	
3	交通・運輸・通信	(1) 交通	交通	(C) 車・舟・そり類	9	5	
				(D) 交通・旅行用具	3	1	
				(E) 通信設施・用具	4	4	
				(F) その他	1	1	
小計					17	11	
4	交易	(2) 交易	交易	(B) 商業用具	2	2	
				(C) 計算・計量具	13	8	
				(F) 印章・絵符類	2	1	
				(G) その他	3	2	
					20	13	
5	社会生活	(3) 社会生活	社会生活	(F) 贈答・社交用具(慶弔)	12	1	
				(G) その他	2	1	
					14	2	
6	信仰	(4) 信仰	信仰	(C) 神事・法会用具	1	1	
				(D) 神札・護符類	2	1	
				(E) 奉納・祈願品類	2	2	
				(I) その他	2	2	
小計					7	6	

第 7 図 分類コード別一覧表



寄贈資料一覧表

No.	登録番号	寄贈者名	分類			資料名	年代	資料数
			大	中	小			
1	A	A	1	(1)	(D) 戰時関係	陸軍々服（上着）	昭和	1
2			1	(1)	(E) その他	軍服付属品	昭和	6
3			3		(E) 通信施設・用具	電話機（1）	不明	1
4			3		(E) 通信施設・用具	電話機（2）	不明	1
5			3		(E) 通信施設・用具	電話機（3）	不明	1
6			3		(E) 通信施設・用具	柄鏡	不明	1
7			1	(1)	(A) 服物	ゴーグル（皮ケース付）	近世、現代	2
8			1	(3)	(G) 防護用具	水筒（1）	不明	1
9			1	(1)	(D) 戰時関係	水筒（2）	昭和 27 年	1
10			8		(B) 衣装・道具類	皮ひも	不明	2
11			3		(D) 交通・旅行用具	金具類	不明	3
12			11		(I) 学校教育用品類	ぶんちん	不明	1
13			8		(B) 衣装・道具類	藤製編かご	不明	1
14			8		(B) 衣装・道具類	アイロン、アイロン台	不明	2
15			11		(A) 写真・写真帳	肖像写真	不明	1
16			8		(I) その他	蓄音機	不明	1
小計								26
17	B	B	1	(2)	(G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1
18			1	(2)	(G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1
19			1	(2)	(G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1
20			1	(2)	(G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1
21			1	(2)	(G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1
22			1	(2)	(J) その他	携帶用炉	不明	1
23			2	(7)	(B) 製糸用具	糸紡ぎ機	不明	1
24			2	(7)	(B) 製糸用具	糸紡ぎ機	不明	1
25			2	(7)	(B) 製糸用具	糸紡ぎ機	不明	1
26			2	(7)	(C) 機織り用具	チマキ	不明	1
27			2	(7)	(C) 機織り用具	機織り用具の一部	不明	1
28			2	(7)	(C) 機織り用具	杼（機織り用具）	不明	4
29			2	(7)	(C) 機織り用具	糸巻つけ棒	不明	34
30			2	(7)	(C) 機織り用具	機織りの用具	不明	3
31			2	(7)	(F) 製品	糸	不明	6
32			2	(7)	(H) その他	筆	不明	1
33			2	(7)	(H) その他	用具箱	不明	1
34			4		(G) その他	一銭	不明	1
35			2	(7)	(C) 機織り用具	機織り用具部材	不明	25
36			2	(7)	(C) 機織り用具	機織り用具（巻いた糸）	不明	5
37			2	(7)	(C) 機織り用具	機織り用具の部材か	不明	3
38			2	(7)	(C) 機織り用具	袋	不明	1
39			2	(7)	(C) 機織り用具	糸巻	不明	12
40			1	(2)	(D) 調理・調整具	芋すり機	不明	1
41			1	(3)	(H) その他	自在鉤	不明	1

42	B	026	B	2	(7)	(C) 機織り用具	機織り用具（用途不明品）	不明	1
43		027		11		(B) 地図・図面類	地籍地	明治	1
44		028		11		(B) 地図・図面類	地籍地	明治	1
45		029		11		(B) 地図・図面類	地籍地	明治	1
46		030		11		(B) 地図・図面類	地籍地	明治	1
小計									114
47	C(c)	001-1	C	3		(C) 車・舟・そり類	馬車（荷台）	昭和	1
48		001-2		3		(C) 車・舟・そり類	馬車（ハンドル）	昭和	2
49		001-3		3		(C) 車・舟・そり類	馬車（轅）	昭和	1
50		001-4		3		(C) 車・舟・そり類	馬車（車輪）	昭和	4
51		001-5		3		(C) 車・舟・そり類	馬車（金属類）	昭和	1
52		002-1		2	(1)	(E) その他	下肥樽（ヨッタル）	昭和	3
53		002-2		2	(1)	(E) その他	下肥樽の下敷	昭和	3
54		003		2	(6)	(A) 飼育用具	飼葉切り機	昭和	1
55		004		2	(1)	(E) その他	縄ない機	昭和	1
56		005		1	(2)	(D) 調理・調整具	鉄なべ	昭和	1
57		006		2	(2)	(G) その他	手斧	昭和	1
58		007		1	(3)	(D) 家具・調度	自在鉤	昭和	1
59		008		2	(1)	(E) その他	俵編み機 脚部（一対）	不明	2
小計									22
60	D(d)	001	D	1	(1)	(D) 戦時関係	陸軍々服（上着・ズボン）	不明	2
61		002		1	(1)	(D) 戦時関係	軍服（上着）	不明	1
62		003		1	(3)	(D) 家具・調度	自在鉤1（松柄）	不明	1
63		004		1	(3)	(D) 家具・調度	自在鉤2（鼓づち柄）	不明	1
64		005-1		9		(F) 婚礼用具	物入れ（婚礼用具）	明治30年	1
65		005-2		9		(F) 婚礼用具	婚礼用具	明治30年	12
66		006		1	(2)	(I) 飲食器	会席膳十人前1	明治30年	11
67		007		1	(2)	(I) 飲食器	会席膳十人前2	明治30年	11
68		008		1	(1)	(D) 戦時関係	出征祝儀1 祝應召佐藤肇君	不明	1
69		009		1	(1)	(D) 戦時関係	出征祝儀2 祝應召佐藤肇君	不明	1
70		010		6		(E) 奉納・祈願品類	奉獻南宮神社廣歲（儀）1	大正13年	1
71		011		6		(E) 奉納・祈願品類	奉獻南宮神社廣歲（儀）2	大正13年	1
72		012		6		(I) その他	白布	不明	1
73		013		1	(2)	(I) 飲食器	お櫃	不明	1
74		014		2	(1)	(C) 収穫・調整用具	もみ運び機（器）1	不明	1
75		015		2	(1)	(C) 収穫・調整用具	もみ運び機（器）2	不明	1
小計									48
76	E(e)	001	E	11		(J) 文書・日誌類	古文書類	明治頃か	13
77		002		1	(3)	(D) 家具・調度	襖と下梁	明治39年	4
78		003		11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞	明治38年	10
小計									27
79	F	001-1	F	4		(C) 計算・計量具	棒ハカリ	不明	1
80		001-2		4		(C) 計算・計量具	棒ハカリ用分銅	不明	1
81		001-3		4		(C) 計算・計量具	棒ハカリ用かつぎ棒	不明	1
小計									3

82	G(g)	001	11	(J) 文書・日誌類	『作子証』	明治 18 年	1
83		002	11	(J) 文書・日誌類	『士官候補生採用願』	明治 6 年	1
84		003	11	(J) 文書・日誌類	『耕地小作證』	不明	1
85		004	11	(J) 文書・日誌類	『諸届願等一括』	明治	2
86		005	11	(J) 文書・日誌類	『設計書』等	不明	3
87		006	11	(J) 文書・日誌類	『借入証』	昭和 9 年	1
88		007	11	(J) 文書・日誌類	作文『若葉の頃』	昭和	1
89		008	11	(J) 文書・日誌類	『屋敷図面八幡字上屋敷』	不明	1
90		009	11	(J) 文書・日誌類	『海軍施設買取調印通知』	不明	1
91		010	11	(J) 文書・日誌類	『病気ニ付辞職願』	昭和 26 年	1
92		011	11	(J) 文書・日誌類	『四月より五月迄二ヶ月分』	不明	1
93		012	11	(J) 文書・日誌類	『第六号御質問之条』	不明	1
94		013	11	(J) 文書・日誌類	『開墾御届』	明治 27 年	1
95		014	11	(J) 文書・日誌類	『備荒儲蓄糉共借証』	明治 21 年 7 月	1
96		015	11	(J) 文書・日誌類	『青年会則』	不明	1
97		016	11	(J) 文書・日誌類	『証 - 金武捨三円 -』	明治 10 年	1
98		017	11	(J) 文書・日誌類	『新聞発坪数改』	明治 3 年	1
99		018	11	(J) 文書・日誌類	『証 塩釜村』	明治 10 年	1
100		019	11	(J) 文書・日誌類	『明治九年ヨリ十年迄人足取立分』	明治 9 年 10 月	1
101		020	11	(J) 文書・日誌類	『保元物語 序』	不明	1
102		021	11	(J) 文書・日誌類	『論説謄抄』	明治 21 年	1
103		022	11	(J) 文書・日誌類	『須磨浦古後地』	明治	1
104		023	11	(J) 文書・日誌類	『金子借用証 (一括)』	明治 9 ~ 20 年	9
105		024	11	(J) 文書・日誌類	『糉預り証』	明治 17 年	1
106		025	11	(J) 文書・日誌類	『前書之趣~』	明治 5 年	1
107		026	11	(J) 文書・日誌類	『儲蓄糉借用證』	明治 20 年	1
108		027	11	(J) 文書・日誌類	『地所売買願書 諸取証』	明治 9 年	1
109		028	11	(J) 文書・日誌類	『耕地佃証』	明治 9 年	1
110		029	11	(J) 文書・日誌類	『書面不都合候得共~』	明治 10 年	1
111		030	11	(J) 文書・日誌類	『田地書入金子借用証』	明治 15 年	1
112		031	11	(J) 文書・日誌類	『地所御証明願』	明治 23 年	1
113		032	11	(J) 文書・日誌類	『水門管修築願』	明治 25 年	1
114		033	11	(J) 文書・日誌類	『耕地書入地券■■金子借証』	明治 10 年	1
115		034	11	(J) 文書・日誌類	『申出ノ地券書換相渡候~』	明治 12 年	1
116		035	11	(J) 文書・日誌類	『■調■』	不明	1
117		036	11	(J) 文書・日誌類	『(陸軍野紙)』	不明	1
118		037	11	(J) 文書・日誌類	『答案紙』	不明	13
119		038	11	(J) 文書・日誌類	『土地売買関係文書』一括	明治、大正	1
120		039	11	(J) 文書・日誌類	『委任状』	明治	3
121		040	11	(J) 文書・日誌類	『借用証』	明治 16 年	1
122		041	11	(J) 文書・日誌類	『養子長男被立下度願』	明治	1
123		042	11	(J) 文書・日誌類	『諸届證文』等一括	明治	1
124		043	11	(J) 文書・日誌類	『本組合ニ於テ衛星~』	不明	1
125		044	11	(J) 文書・日誌類	『輿論謄抄』	明治	1
126		045	11	(J) 文書・日誌類	『文説謄抄』	明治	1
127		046	11	(J) 文書・日誌類	『耕地永代~』	不明	1

128	G(g)	G	047	11	(J) 文書・日誌類	『永代遙■呑之事』	明治	1
129			048	11	(J) 文書・日誌類	『無尽給付金』	昭和	1
130			049	11	(J) 文書・日誌類	『紡績会社創立金～』	不明	1
131			050	11	(J) 文書・日誌類	『地価金■五円八十九銭～』	不明	1
132			051	11	(J) 文書・日誌類	『借用証』等一括	明治、大正	1
133			052	11	(J) 文書・日誌類	『歴史人名覚』	不明	1
134			053	11	(J) 文書・日誌類	『家屋平面図』	不明	1
135			054	11	(I) 学校教育用品類	『全教科 抄本』	不明	1
136			055	11	(I) 学校教育用品類	『初等科算数』	昭和 17 年	1
137			056	11	(I) 学校教育用品類	『初等科理科』	昭和 17 年	1
138			057	11	(I) 学校教育用品類	『ローマ字教科書』	昭和 28 年 12 月	1
139			058	11	(J) 文書・日誌類	『奉公定証証』	昭和 7 年	1
140			059	11	(J) 文書・日誌類	『第三号議案』	昭和 13 年	1
141			060	11	(J) 文書・日誌類	『農業雇人賃金協定表』	大正 13 年	1
142			061	11	(J) 文書・日誌類	『工事経過報告』	昭和 11 年 7 月	1
143			062	11	(J) 文書・日誌類	『昭和十九年十月ヨリ食数覚』	昭和 19 年	1
144			063	11	(J) 文書・日誌類	『海軍省用地内用材払下代』	昭和 18 年	1
145			064	11	(J) 文書・日誌類	『詮衡会推薦候補者名入りチラシ』	昭和	1
146			065	11	(J) 文書・日誌類	『家督相続届』	昭和 14 年 1 月	2
147			066	11	(J) 文書・日誌類	『設計書(加瀬溜井堤防樋管～)』	昭和	5
148			067	11	(J) 文書・日誌類	『設計書(加瀬溜井用水～)』	昭和	1
149			068	11	(J) 文書・日誌類	『設計書(山王小学校便所)』	不明	1
150			069	11	(J) 文書・日誌類	『印鑑証明願』	昭和 11 年 1 月	2
151			070	11	(J) 文書・日誌類	『監査報告 塩釜青果市場』	昭和 19 年 3 月	1
152			071	11	(J) 文書・日誌類	『混凝土壹立米当り代価表』他	不明	7
153			072	11	(J) 文書・日誌類	『株式払込督促』	昭和 19 年 5 月	2
154			073	11	(J) 文書・日誌類	『昭和八年参月改メ』	昭和 8 年 3 月	3
155			074	11	(J) 文書・日誌類	『東田中字山崎』	不明	1
156			075	11	(J) 文書・日誌類	『賞賜物件交付ノ件』	昭和 19 年 5 月	1
157			076	1 (2)	(I) 飲食器	御膳	不明	10

小計

125

158	H(h)	H	001	1	(2)	(C) 炊事用具	茶釜	不明	1
159			002	1	(3)	(D) 家具・調度	ごとく	不明	1
160			003	1	(2)	(C) 炊事用具	鉄びん	不明	1
161			004	4		(C) 計算・計量具	天秤ハカリ	不明	1
162			005	4		(C) 計算・計量具	分銅	不明	1
163			006-1	1	(1)	(B) 結髪・化粧道具	バリカン	不明	1
164			006-2	1	(1)	(B) 結髪・化粧道具	バリカン	不明	3
165			007	1	(3)	(D) 家具・調度	仙台簾笥	不明	1

小計

10

166	I	I	001	1	(1)	(B) 結髪・化粧道具	鏡台	不明	1
167			002	8		(I) その他	杖 1 ~ 4	不明	4
168			003	1	(1)	(D) 戰時関係	サーベル鞘 1. 2	不明	2
169			004	7		(G) 計算・計量具	ソロバン	不明	1
170			005-1	11		(F) 拓本・墨書	文字額 1 「徳 (カ賓) 宝」	不明	1

171		005-2		11	(K) その他	額縁の枠	不明	1
172		005-3		11	(K) その他	為替拂渡帳用紙	不明	1
173		005-4		11	(J) 文書・日誌類	旅費関係文書	明治 41 年	18
174		005-5		11	(K) その他	プログラム	不明	2
175		005-6		11	(J) 文書・日誌類	天塩川調査測量人夫賃仕払通知書	不明	5
176		005-7		11	(C) 封書・絵葉書類	手紙類断片	明治 41 年	37
177		006		11	(F) 拓本・墨書	文字額 2 「鶴鳴日麓」	不明	1
178		007-1		11	(F) 拓本・墨書	文字額 3 「? (5 文字)」	不明	1
179		007-2		1 (3)	(D) 家具・調度	額 3 のわく	不明	1
180		007-3		11	(J) 文書・日誌類	出勤簿	不明	1
181		007-4		3	(F) その他	郵第八号甲	大正	1
182		008		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	屏風 1	不明	1
183		009		1 (1)	(E) その他	手下げ袋 1. 2	不明	2
184		010		7	(C) 薬品・医療・保健具	往診用カバン	不明	1
185		011		1 (1)	(E) その他	カバン 1	不明	1
186		012		1 (1)	(E) その他	カバン 2	不明	1
187		013		1 (1)	(E) その他	小物入れ	不明	1
188		014		1 (1)	(E) その他	物入れ 1	不明	15
189		015		1 (3)	(H) その他	踏み台	不明	1
190		016		11	(J) 文書・日誌類	手帳 1	不明	1
191		017		1 (3)	(D) 家具・調度	物入れ 2	不明	1
192		018		1 (3)	(D) 家具・調度	物入れ 3	不明	1
193	I	019	I	1 (3)	(D) 家具・調度	衣桁	不明	1
194		020-1		1 (3)	(D) 家具・調度	屏風 2	昭和 5 年	1
195		020-2		1 (3)	(D) 家具・調度	屏風 2 のわく	不明	2
196		020-3		11	(J) 文書・日誌類	輸出貨物之簿	大正か昭和 4 ~ 5 年	1
197		021		8	(H) 娯楽・遊戯・玩具	すごろく一式	不明	22
198		022		1 (1)	(D) 戰時関係	双眼鏡	不明	2
199		023		1 (2)	(I) 飲食器	青葉会盃	不明	2
200		024		8	(H) 娯楽・遊戯・玩具	将棋駒	不明	4
201		025		8	(H) 娯楽・遊戯・玩具	百人一首	不明	2
202		026		1 (2)	(C) 炊事用具	火運び	不明	1
203		027		1 (2)	(I) 飲食器	凱旋招魂記念盃	不明	3
204		028		1 (2)	(G) 嗜好品用具	煙草盆	不明	4
205		029		1 (3)	(D) 家具・調度	台 (折りたたみ脚付)	不明	1
206		030		1 (2)	(I) 飲食器	鉄瓶	不明	1
207		031		1 (3)	(H) その他	柳行李	不明	1
208		032		1 (2)	(I) 飲食器	日露戦争記念盃	不明	7
209		033		1 (2)	(C) 炊事用具	片口鍋	不明	1
210		034		11	(C) 封書・絵葉書類	スケッチブック葉書	不明	1
211		035		1 (3)	(H) その他	白熱灯	不明	1
212		036		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『大礼記念帳』	不明	1
213		037		1 (2)	(I) 飲食器	御大典記念盃	不明	2
214		038		1 (1)	(D) 戰時関係	刀箱	不明	1
215		039		1 (1)	(D) 戰時関係	在郷軍人会員徽章	不明	3

216		040	1	(1)	(D) 戰時関係	刀 2振	不明	14	
217		041	1	(1)	(D) 戰時関係	サーベル柄 他	不明	1	
218		042	4		(F) 印章・絵符類	氏名印	不明	2	
219		043	4		(G) その他	聖蹟保存会々員章	不明	2	
220		044	1	(1)	(A) 服物	軍服ボタン他	不明	15	
221		045	1	(1)	(D) 戰時関係	階級章	不明	13	
222		046	1	(1)	(A) 服物	軍帽・ハット他	不明	6	
223		047	1	(2)	(I) 飲食器	鉢類	不明	4	
224		048	7		(C) 薬品・医療・保健具	乳鉢	不明	4	
225		049	1	(2)	(I) 飲食器	征露記念盆	不明	2	
226		050	5		(G) その他	肩掛け	不明	2	
227		051	1	(1)	(D) 戰時関係	従軍記念弾丸	不明	4	
228		052	1	(1)	(D) 戰時関係	軍装金具	不明	4	
229		053	1	(1)	(D) 戰時関係	軍服装具	不明	3	
230		054	1	(3)	(D) 家具・調度	二重物入れ	不明	1	
231		055	5		(F) 贈答・社交用具(慶弔)	各種記章	明治 37 年・昭和 21 年	12	
232		056	1	(1)	(D) 戰時関係	軍帽飾	不明	1	
233		057	1	(1)	(D) 戰時関係	軍服	不明	1	
234		058	1	(1)	(D) 戰時関係	軍服飾	不明	2	
235		059	1	(1)	(D) 戰時関係	ホルスター	不明	11	
236		060	1	(1)	(D) 戰時関係	ゴーグル	不明	1	
237		061	1	(1)	(D) 戰時関係	軍帽	不明	1	
238	I	062	I	1	(1)	(D) 戰時関係	ベルト①②	不明	9
239		063	1	(1)	(D) 戰時関係	吊金具	不明	1	
240		064	1	(1)	(D) 戰時関係	軍用バッグ	不明	1	
241		065	1	(1)	(D) 戰時関係	軍装入れ	不明	1	
242		066	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『實業之日本』	昭和 5 年	1	
243		067	11		(K) その他	『封筒御詔書』	不明	1	
244		068	11		(D) 絵画・錦絵・版画類	『名所絵』	不明	1	
245		069	11		(J) 文書・日誌類	『戦争関連書類』	昭和 24 年	3	
246		070	11		(C) 封書・絵葉書類	『絵葉書各種』	明治 38 年～	30	
247		071	11		(J) 文書・日誌類	『未開地壳払願他文書』	昭和 5 年～	9	
248		072	11		(K) その他	『映画チラシ』	不明	1	
249		073	11		(D) 絵画・錦絵・版画類	色紙 4 枚	不明	4	
250		074	11		(F) 拓本・墨書	『今上天皇陛下御辰筆』	大正 3 年～	1	
251		075	11		(F) 拓本・墨書	拓本 多賀城碑	不明	1	
252		076	11		(K) その他	『記念募集優績名簿』	昭和 8 年～	1	
253		077	11		(K) その他	『俱楽部員名簿』 2 通	昭和 3 年～	1	
254		078	11		(C) 封書・絵葉書類	封筒 『河川調査二閑スル証憑書』	不明	1	
255		079	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『写真週報』	昭和 16 年～	1	
256		080	11		(A) 写真・写真帳	名画等写真一括	昭和 8 年～	19	
257		081	11		(K) その他	『銀行簿記例題記入帳』	不明	1	
258		082	11		(J) 文書・日誌類	手帳 明治 41 年	明治 41 年	1	
259		083	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『陣地攻撃要領』	昭和 37 年～	1	
260		084	11		(K) その他	出納帳	不明	1	

261	I	085	11	(C) 封書・絵葉書類	『謹啓新春料峭之候~』	不明	1
262		086	11	(B) 地図・図面類	『最新支那詳密大地图』	昭和 12 年	1
263		087	11	(B) 地図・図面類	『最新亞地亞地图』	昭和 12 年	1
264		088	11	(A) 写真・写真帳	『最新歐州大地图』	昭和 11 年	1
265		089	11	(K) その他	挨拶文 3 通	不明	3
266		090	9	(G) 婚姻関係用具	弔詞・弔辞	昭和 19 年	2
267		091	11	(B) 地図・図面類	屋敷方角図	不明	1
268		092	11	(K) その他	『陣中時代~。』句作一括	不明	8
269		093	11	(K) その他	多賀城村史跡書類一括	昭和 9 年~	10
270		094	11	(K) その他	『八戸市』	不明	1
271		095	11	(K) その他	『金華山参拝の栄』	不明	1
272		096	11	(K) その他	『北海道移住手引書』	明治 42 年	1
273		097	11	(J) 文書・日誌類	手帳 7 冊	昭和 15 年	7
274		098	11	(J) 文書・日誌類	人名簿 2 冊	不明	20
275		099	11	(K) その他	『保険契約例表』	不明	1
276		100	11	(B) 地図・図面類	『二万分之一尺地図富谷・松島』	明治 22 年・明治 24 年	2
277		101	11	(B) 地図・図面類	『宮城県全図』	昭和 16 年	1
278		102	11	(F) 拓本・墨書き	『日徳翁肉筆』他	不明	25
279		103	11	(J) 文書・日誌類	『思出の記』4 冊	昭和 35 年	4
280		104	11	(J) 文書・日誌類	『自叙伝』	昭和 35 年	1
281		105	11	(J) 文書・日誌類	『末松山鐘のひびき』	昭和 28 年	1
282		106	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『皇権』	昭和 19 年	1
283	I	107	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『敢闘』2 部	昭和 20 年	2
284		108	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『宮城翼賛手帳』	昭和 16 年	1
285		109	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『兵役に関する心得』	昭和 19 年	2
286		110	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『在郷軍人須知』	明治 45 年	1
287		111	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『在郷軍人心』	不明	1
288		112	11	(K) その他	封筒 「千代田火災海上」	不明	1
289		113	11	(I) 学校教育用品類	『雁のゆきかひ 下』	明治 40 年	1
290		114	11	(J) 文書・日誌類	備忘録 手帳 8 冊	昭和 28 年~	8
291		115	11	(A) 写真・写真帳	『東北産業博覧会写真』	昭和 3 年	1
292		116	11	(K) その他	羅紙、白紙	不明	61
293		117	11	(K) その他	『御焼香順次は別紙二』	不明	1
294		118	11	(K) その他	『八幡 大村棄治殿』	不明	1
295		119	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『あちらのくらし』	昭和 40 年	3
296		120	11	(K) その他	『多賀城町議会議員選挙広報』	昭和 30 年	1
297		121	11	(C) 封書・絵葉書類	『記念束翰』	不明	14
298		122	11	(K) その他	綴込表紙	不明	1
299		123	4	(B) 商業用具	『代理店会社関係』	不明	1
300		124	11	(J) 文書・日誌類	スクラップブック	昭和 20 年	1
301		125	11	(J) 文書・日誌類	『雁のゆきかひ 上』	明治 33 年~	1
302		126	1 (2)	(J) その他	諸縁 (個人関係)	不明	9
303		127	11	(J) 文書・日誌類	『覚書』	昭和 15 年	1
304		128	11	(J) 文書・日誌類	『日露戰役從軍日誌』	明治 38 年	3
305		129	11	(J) 文書・日誌類	『落葉籠』	昭和 11 年	16

306	I	130	6	(D) 神社・護符類	『今上陛下御宸筆』	不明	2
307		131	11	(K) その他	『玉淵書伯百書会開催趣旨』	昭和(戦前)	1
308		132	11	(J) 文書・日誌類	『喧嘩しないで～』	不明	1
309		133	11	(J) 文書・日誌類	『萬物皆不滅にして～』	不明	1
310		134	11	(C) 封書・絵葉書類	書簡(大村棄治宛て)	不明	1
311		135	11	(C) 封書・絵葉書類	『拝啓色々御指南～』(書簡2枚)	不明	2
312		136	11	(J) 文書・日誌類	『大阪□□□道具～』	不明	1
313		137	11	(K) その他	包紙(勿来闕碑拓本)	不明	1
314		138	11	(J) 文書・日誌類	『來賓室割表』	不明	1
315		139	11	(F) 拓本・墨書	拓本(蘆溝曉月)2枚	現代	2
316		140	11	(F) 拓本・墨書	拓本(吹風一)	不明	1
317		141	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	封筒「千代田生命保険相互会社」	不明	1
318		142	11	(J) 文書・日誌類	『八月三十一日在郷軍人解散告諭～』	不明	1
319		143	11	(J) 文書・日誌類	『昭和二十年八月二十五日陸海軍人二賜タル勅語』	昭和20年	1
320		144	11	(J) 文書・日誌類	『八月十七日陸海軍人二勅語ヲ賜フ』	不明	1
321		145	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『写真週報』(裏表紙)2枚	昭和13年	2
322		146	11	(C) 封書・絵葉書類	封筒「大村棄治殿」	不明	1
323		147	11	(J) 文書・日誌類	『大政翼賛会宮城郡支部出張命令簿』	不明	1
324		148	11	(B) 地図・図面類	『足寄太市街細密図』	不明	1
325	I	149	11	(D) 絵画・錦絵・版画類	『大演習記念絵葉書』	明治24年	1
326		150	11	(C) 封書・絵葉書類	『謹啓弥々酷寒之候』(書簡)	不明	2
327		151	11	(F) 拓本・墨書	『伊藤聯隊長能～』	近代	1
328		152	11	(D) 絵画・錦絵・版画類	名画写真(羊飼ひの女他3枚)	現代	3
329		153	11	(F) 拓本・墨書	拓本(物□人□～)	近代～現代	1
330		154	11	(J) 文書・日誌類	『身元引受人変更ノ件』	不明	6
331		155	11	(J) 文書・日誌類	『一金四円八拾錢也』	不明	1
332		156	11	(J) 文書・日誌類	『特免申請書について』	昭和24年	1
333		157	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『戦陣訓』	昭和16年	1
334		158	11	(J) 文書・日誌類	『江戸上り下里歌』	近代～現代	1
335		159	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『詔書』	昭和20年	1
336		160	11	(K) その他	『志おり』	不明	1
337		161	11	(K) その他	白紙・羅紙	不明	1
338		162	6	(I) その他	旗・浅間神社登拝記念	不明	1
339		163	8	(I) その他	タンポン	不明	2
340		164	1	(3) (H) その他	木札 多賀城第三号 大村	不明	1
341		165	11	(B) 地図・図面類	住宅新築設計図	不明	1
342		166	11	(K) その他	賞状等 大村亨	昭和4年～	9
343		167	11	(K) その他	叙勲・記念之章	大正4年～	4
344		168	11	(B) 地図・図面類	『根室支丁管内図』	不明	1
345		169	11	(F) 拓本・墨書	襖(揮毫)	不明	4
346		170	11	(F) 拓本・墨書	印刷拓本 2枚	不明	2
347		171	11	(K) その他	賞状等 大村 信	昭和2年～	3

348	I	172		11	(C) 封書・絵葉書類	封筒一括	昭和 18 年～	15
349		173		11	(F) 拓本・墨書	『皇師百萬之詩』	不明	1
350		174		11	(B) 地図・図面類	『函館区域図』	不明	1
351		175		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『軍事画報大喪記念号』	大正元年	1
352		176		11	(K) その他	キング付録用包紙	昭和 9 年	1
353		177		11	(K) その他	『キング付録重要番付一覧表』	昭和 11 年	1
354		178		11	(K) その他	『納稅期限一覧表』	昭和 5 年	2
355		179		11	(K) その他	『戦友会規約』	不明	1
356		180		11	(B) 地図・図面類	『地図二十万分一之尺 福島』	明治 40 年	1
357		181		11	(B) 地図・図面類	『明治 42 年特別大演習地図』 3 葉	明治 42 年	3
358		182		11	(K) その他	『旧仙台藩同郷懇親会報告』	明治 43 年	1
359		183		11	(A) 写真・写真帳	『昭和天皇写真』	昭和 9 年	1
360		184		11	(A) 写真・写真帳	『東北新風景』	昭和 5 年	1
361		185		11	(C) 封書・絵葉書類	書簡 6 通	不明	6
362		186		11	(K) その他	『文具界特別意匠広告』	不明	1
363		187		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	東京日日新聞	昭和 17 年	1
364		188		11	(K) その他	保険募集一括	不明	3
365		189		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『ハイカラ婦人』	昭和 39 年	1
366		190		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『特別大演習陪観二関スル心得』	大正 14 年	1
367		191		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『写真週報』	昭和 15 年	2
368		192		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	河北新報 6 日分	大正 14 年～	6
369		193	I	11	(K) その他	祝包紙	不明	1
370		194		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	『扶桑第一峰』	昭和 9 年	1
371		195		11	(F) 拓本・墨書	キング付録揮毫 2 枚	昭和 9 年	2
372		196		11	(K) その他	感謝状 大村つねよ	不明	1
373		197		11	(C) 封書・絵葉書類	書簡 4 通	昭和 28 年	1
374		198		11	(J) 文書・日誌類	手帳	不明	1
375		199		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	大楠公画像	昭和 10 年	1
376		200		11	(K) その他	獣医関係一括	昭和 8 年	8
377		201		11	(K) その他	歯科関係一括	昭和	9
378		202		11	(K) その他	『利子積算仕分書』 2 通	不明	2
379		203		11	(A) 写真・写真帳	『皇太子殿下最近の御尊影』	昭和 10 年	1
380		204		11	(B) 地図・図面類	『札幌区々域図』	不明	1
381		205		11	(K) その他	『有限責任北海道芦貿易組合販売品種目一覧表』	明治 42 年	1
382		206		11	(K) その他	『領票ノ写并領票記入ノ心得』	明治 41 年	1
383		207		11	(K) その他	包紙戦役関係書類	不明	1
384		208		11	(F) 拓本・墨書	『伊達政宗公真筆和歌』	昭和 10 年	1
385		209		11	(B) 地図・図面類	『東京都市市外全図』	昭和 39 年	1
386		210		11	(B) 地図・図面類	『朝鮮里程全図』	昭和 3 年	1
387		211		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞切り抜き 2 枚。「葛西氏事蹟の概要と其後裔に就て」	大正 14 年	2
388		212		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『測図学教程』	明治 33 年	1
389		213		11	(B) 地図・図面類	『根室全図』	不明	1
390		214		11	(B) 地図・図面類	『山東省地図』	大正 3 年	1

391	I	215		11	(B) 地図・図面類	『大日本現勢地図』	不明	1
392		216		11	(B) 地図・図面類	『根室町市街地図』	不明	1
393		217		11	(B) 地図・図面類	『関西府県連合共進会全図』	不明	1
394		218		11	(K) その他	『会葬御礼差出奥海浩』	昭和 10 年	1
395		219		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞切抜き特別大演習	不明	1
396		220		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『海行かば』	昭和 18 年	1
397		221		11	(K) その他	『宮城県歯科医師会長発』	昭和 33 年	3
398		222		11	(K) その他	『美人印わたあっ旋に就いて』	昭和 33 年	1
399		223		11	(J) 文書・日誌類	『営業日誌商品有高帳』	不明	1
400		224		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『三十年式歩兵銃使用法草案』	明治 33 年	1
401		225		11	(K) その他	出納帳	不明	1
402		226		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『衛成服務規則』	明治 33 年	1
403		227		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	軍隊符号・付図	不明	2
404		228		11	(J) 文書・日誌類	『忘れな草』	昭和 20 年	1
405		229		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『馬術教範』	昭和 3 年	1
406		230		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『騎兵操典』	明治 45 年	1
407		231		11	(K) その他	『仙台?樂部規則』	明治 42 年	1
408		232		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『陸軍軍隊符号』	大正 6 年	1
409		233		11	(J) 文書・日誌類	『軍務野帳』	不明	1
410		234		11	(K) その他	『藏王山麓名湯案内図絵』	大正 15 年	1
411		235		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『陣中衛生心得』	明治 37 年	1
412		236		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『西武強健術と触手療法』	不明	1
413		237		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『警察官ノ服膺スヘキ五ヶ条』	不明	1
414	I	238		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『日蓮聖人御遺文』	昭和 4 年~	1
415		239		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『通信宝艦』	大正 4 年	1
416		240		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『三十年式歩兵銃及騎兵銃保存法』	明治 32 年	1
417		241		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『名言名訓集』	昭和 11 年	1
418		242		11	(C) 封書・絵葉書類	絵葉書一括	不明	20
419		243		11	(K) その他	『成城学校出身将校名簿』	明治 30 年	1
420		244		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『軍隊手帳』	明治 33 年~	1
421		245		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『陸軍各兵科下士上等兵教育令』	不明	1
422		246		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『野外要務令』	明治 33 年~	1
423		247		11	(J) 文書・日誌類	日記 明治 39・40 年	明治 39 年~	3
424		248		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『日露会話』	明治 36 年	1
425		249		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『体操教範』	明治 42 年	1
426		250		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『担架術教科書』	明治 36 年	1
427		251		11	(K) その他	名簿用カード	不明	112
428		252		11	(J) 文書・日誌類	東北産業博覧会絵葉書	不明	1
429		253		11	(J) 文書・日誌類	絵葉書包装紙	不明	1
430		254		11	(C) 封書・絵葉書類	絵葉書一括	不明	25
431		255		11	(J) 文書・日誌類	『メートル器許可証』	不明	3
432		256		11	(J) 文書・日誌類	『劍術教範』	不明	1
433		257		11	(J) 文書・日誌類	『歩兵射撃教範』	不明	1
434		258		11	(J) 文書・日誌類	『任陸軍歩兵少尉』	不明	1
435		259		11	(J) 文書・日誌類	『遺族賜興金』	不明	1

436	I	260		11	(J) 文書・日誌類	『戦死により特進』	不明	1
437		261		11	(J) 文書・日誌類	所属一括	不明	1
438		262		11	(J) 文書・日誌類	叙位一括	不明	1
439		263		11	(J) 文書・日誌類	『台湾へ出張ヲ命ズ』	不明	1
440		264		11	(J) 文書・日誌類	『メモ』	不明	1
441		265		11	(J) 文書・日誌類	『北海道庁封筒』	不明	1
442		266		11	(J) 文書・日誌類	『札幌市街図』	不明	1
443		267		11	(J) 文書・日誌類	『北海道道路予定図』	不明	1
444		268		11	(J) 文書・日誌類	『北海道全図』	不明	1
445		269		11	(J) 文書・日誌類	『日露■衝全局面大地図』	不明	1
446		270		11	(J) 文書・日誌類	『地形図足寄』	不明	1
447		271		11	(J) 文書・日誌類	『地形図十勝』	不明	1
448		272		11	(J) 文書・日誌類	『寺崎』	不明	1
449		273		11	(J) 文書・日誌類	『涌谷』	不明	1
450		274		11	(J) 文書・日誌類	『高清水』	不明	1
451		275		11	(J) 文書・日誌類	『二本松』	不明	1
452		276		11	(J) 文書・日誌類	『瀬峰』	不明	1
453		277		11	(J) 文書・日誌類	『古川』	不明	1
454		278		11	(J) 文書・日誌類	『北方』	不明	1
455		279		11	(J) 文書・日誌類	『矢本』	不明	1
456		280		11	(J) 文書・日誌類	『福嶋』	不明	2
457		281		11	(J) 文書・日誌類	『白岩』	不明	1
458		282		11	(J) 文書・日誌類	『矢吹』	不明	1
459		283		11	(J) 文書・日誌類	『須賀川』	不明	1
460		284		11	(J) 文書・日誌類	『松川』	不明	1
461		285		11	(J) 文書・日誌類	『広瀬』	不明	1
462		286		11	(J) 文書・日誌類	『塩川村』	不明	1
463		287		11	(J) 文書・日誌類	『吉田』	不明	1
464		288		11	(J) 文書・日誌類	『中新田』	不明	1
465		289		11	(J) 文書・日誌類	『大松澤』	不明	1
466		290		11	(J) 文書・日誌類	『松山』	不明	1
467		291		11	(J) 文書・日誌類	『岩出山』	不明	1
468		292		11	(J) 文書・日誌類	『須賀川』	不明	1
469		293		11	(J) 文書・日誌類	『飯野川』	不明	1
470		294		11	(J) 文書・日誌類	『吉岡』	不明	1
471		295		11	(J) 文書・日誌類	『小野』	不明	1
472		296		11	(J) 文書・日誌類	『鶴崎』	不明	1
473		297		11	(J) 文書・日誌類	『本宮』	不明	1
474		298		11	(J) 文書・日誌類	『三春』	不明	2
475		299		11	(J) 文書・日誌類	『庭坂』	不明	1
476		300		11	(J) 文書・日誌類	『南郷』	不明	1
477		301		11	(J) 文書・日誌類	『築館』	不明	1
478		302		11	(J) 文書・日誌類	『鍛冶谷沢』	不明	1
479		303		11	(J) 文書・日誌類	『大河原』	不明	1
480		304		11	(J) 文書・日誌類	『郡山』	不明	2
481		305		11	(J) 文書・日誌類	『村田』	不明	1

482		306		11	(J) 文書・日誌類	『吉岡近傍』	不明	1
483		307		11	(J) 文書・日誌類	『町屋』	不明	1
484		308		11	(J) 文書・日誌類	『亘理』	不明	1
485		309		11	(J) 文書・日誌類	『増田近傍』	不明	1
486		310		1	(1) (D) 戰時関係	階級章	不明	1
487		311		1	(3) (D) 家具・調度	引出金具	不明	1
488		312		11	(J) 文書・日誌類	『棚倉』	不明	1
489		313		11	(C) 封書・絵葉書類	絵葉書一括	明治 40 年	24
490		314		11	(E) 掛軸	掛軸	不明	1
491		315		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『大正天皇 大喪儀画報』	昭和 2 年	1
492		316		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	松竹梅三幅対	昭和 12 年	1
493		317		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『校刻 日本外交』	明治 40 年	1
494		318		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『前大平記 全』	明治 43 年	1
495		319		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『實用百科大全』	明治 41 年	1
496		320		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『作法文範 文章大観 全』	大正 4 年	1
497		321		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『新井石禅師 大講演集』	昭和 3 年	1
498		322		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『修養全集』	昭和 3 年	12
499		323		11	(B) 地図・図面類	十勝国全図	不明	1
500	I	324	I	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『日清對訟 戰陣用語』	不明	1
501		325		11	(C) 封書・絵葉書類	『葉書』	明治 39 年	5
502		326		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『軍制提要』	明治	1
503		327		11	(J) 文書・日誌類	日記ほか	明治	1
504		328		11	(K) その他	名札	不明	1
505		329		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	北海道里程帳	明治	1
506		330		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞	明治 39 年	1
507		331		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	台湾画報ほか	昭和 12 年	7
508		332		11	(J) 文書・日誌類	英文資料	昭和 24 年	1
509		333		11	(J) 文書・日誌類	土木係河川調査ほか	不明	1
510		334		11	(F) 拓本・墨書き	大正天皇太皇御歌。	不明	1
511		335		11	(A) 写真・写真帳	写真	不明	1
512		336		11	(K) その他	巻物	不明	1
513		337		11	(C) 封書・絵葉書類	絵はがき (写真)	大正 12 年	51
514		338		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1
515		339		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1
516		340		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1
517		341		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1
518		342		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1
519		343		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1
小計								1142
520	J	001		11	(K) その他	写真現像機	昭和	1
521		002		11	(A) 写真・写真帳	アルバム	昭和	9
522		003		11	(A) 写真・写真帳	写真集	昭和	5
523	J	004		11	(A) 写真・写真帳	写真集－砂押川の表情－	昭和	6
524		005		11	(A) 写真・写真帳	写真集－向山界隈地－	昭和	5
525		006		11	(A) 写真・写真帳	写真集－むらの残像－	昭和 59 年	1
526		007		11	(A) 写真・写真帳	パネル写真	昭和	4

527	J	008	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-塩釜の窓-	昭和 52 年	7
528			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-瑞巖寺庫裏-	昭和 53 年	3
529			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-朝の蒲生河口-	昭和 50 年	3
530			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-雪の風景-	昭和	6
531			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-田舎の寺社-	昭和 53 ~ 54 年	3
532			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-多賀城の風景-	昭和	8
533			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-工人-	不明	4
534			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-海とくらし-	昭和 45 ~ 55 年	9
535			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-お年寄りの表情-	昭和 52 ~ 60 年	5
536			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-子どもの遊び-	昭和 55 ~ 60 年	3
537			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-古い家-	昭和 52 年	2
538			11	(A) 写真・写真帳	パネル写真-都島-	不明	2
539			11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『日本外史』	明治 26 年	8
540			11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『明和新刊』	不明	4
541			11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『小学外篇』	不明	1
542			11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『論語』	不明	4
543			11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『孟子』、『大学』	不明	5

小計

108

544	K	001	1	(3) (D) 家具・調度	ふすま(紙)	不明	1
545			1	(3) (D) 家具・調度	ふすまのわく	不明	1
546			11	(J) 文書・日誌類	小割帳?	江戸	103
547			11	(J) 文書・日誌類	古文書	江戸	36
548			11	(J) 文書・日誌類	古文書	江戸	9
549			11	(J) 文書・日誌類	天保 9 年江刺郡輕石村小割帳	天保 9 年	65
550			11	(J) 文書・日誌類	古文書	天保、嘉永	101
551			11	(J) 文書・日誌類	古文書	嘉永元年	18
552			11	(J) 文書・日誌類	古状揃	江戸	5
553			11	(K) その他	古紙	江戸	5
554			1	(3) (D) 家具・調度	ふすま(襖)	不明	0
555			1	(3) (D) 家具・調度	ふすまのわく	不明	1
556			11	(J) 文書・日誌類	『往来物』	江戸	32
557			11	(J) 文書・日誌類	『御家中御知行真高帳』	江戸	12
558			11	(J) 文書・日誌類	留・手紙・寺関係の諸文書	江戸	62
559			11	(J) 文書・日誌類	『惣割諸可而定露帳』他	江戸	92
560			11	(J) 文書・日誌類	御物成	江戸	31
561			11	(J) 文書・日誌類	古文書(人名一覧)	江戸	23
562			11	(K) その他	下貼り用紙	江戸	31
563			11	(J) 文書・日誌類	古文書断片	江戸	1
564			1	(3) (D) 家具・調度	長持	不明	3
565			11	(J) 文書・日誌類	日毎金高人名	不明	23
566			11	(K) その他	下貼り用紙	不明	1
567			1	(3) (D) 家具・調度	長持の金具	不明	4
568			11	(J) 文書・日誌類	足利氏系図	不明	1
569			11	(J) 文書・日誌類	(播磨点了の呼称問合)	不明	1
570			11	(J) 文書・日誌類	植宗君御書簡	不明	1

571	K	K	007		11	(J) 文書・日誌類	当将军様御判物之写	貞享元年	1
572			008		11	(J) 文書・日誌類	御佳例御連歌	壬寅正月 7 日	1
573			009		11	(J) 文書・日誌類	大崎御系譜	不明	1
574			010		11	(J) 文書・日誌類	(大崎系譜)	不明	1
575			011		11	(J) 文書・日誌類	伊達氏十六世貞山大居士治家記録	不明	1
576			012		11	(J) 文書・日誌類	最上天童氏世系	不明	1
577			013		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
578			014		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
579			015		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録) と裏書(花火材料か)	不明	1
580			016		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
581			017		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
582			018		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
583			019		11	(J) 文書・日誌類	(栗野氏系図)	不明	1
584			020		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏御暦代)	不明	1
585			021		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏過去帳) (日めくり)	不明	1
586			022		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏過去帳)	不明	1
587			023		11	(J) 文書・日誌類	(伊達家系図)	不明	1
588			024		11	(J) 文書・日誌類	後奈良天皇口宣案	天文 15 年	1
589			025		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	江戸	11
590			026		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	江戸	1
591			027		11	(J) 文書・日誌類	(俗謡本)	不明	1
592			028		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	江戸	1
593			029		11	(J) 文書・日誌類	(俗謡本)	不明	1
594			030		11	(J) 文書・日誌類	<飯坂出雲義>	江戸	1
595			031		11	(J) 文書・日誌類	絵師狩野系図	不明	1
596			032		11	(J) 文書・日誌類	(系譜) <定義 肥後>	不明	1
597			033		11	(J) 文書・日誌類	<丁亥五月二日>	不明	1
598			034		11	(J) 文書・日誌類	(系図) <元宗嗣日理家>	不明	1
599			035		11	(J) 文書・日誌類	頬澄様御自筆御書写	不明	1
600			036		11	(J) 文書・日誌類	(旗印) <六尺三寸>	不明	1
601			037		11	(J) 文書・日誌類	巣有院様御代御判物之写	不明	1
602			038		11	(J) 文書・日誌類	源姓最上天童氏世系	不明	1
603			039		11	(J) 文書・日誌類	知行目録	寛文 3 年	1
604			040		11	(J) 文書・日誌類	(系譜) <操松院殿鐵岩宗貞居士>	不明	1
605			041		11	(J) 文書・日誌類	(系譜) <桑折播磨>	不明	1
606			042		11	(J) 文書・日誌類	源姓最上天童氏世系	不明	1
607			043		11	(J) 文書・日誌類	<兼頼公御事>	不明	1
608			044		11	(J) 文書・日誌類	諸家系図	不明	1
609			045		11	(J) 文書・日誌類	(天童家系図)	不明	1
610			046		11	(J) 文書・日誌類	知行目録	江戸	1
611			047		11	(J) 文書・日誌類	<忠宗公より嫡家>	江戸	1
612			048		11	(J) 文書・日誌類	(系図)	不明	1
613			049		11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
614			050		11	(J) 文書・日誌類	留メ <天童内記定義>	延宝 3 年	1

615	K	K	051	11	(J) 文書・日誌類	(跡目相続)	寛文 7 年	1
616			052	11	(J) 文書・日誌類	(天童氏系図)	不明	1
617			053	11	(J) 文書・日誌類	<家兼公>	不明	1
618			054	11	(J) 文書・日誌類	<- 義通公明応三年に義高と御改候事>	不明	1
619			055	11	(J) 文書・日誌類	(平氏系譜) <高見親王高望>	不明	1
620			056	11	(J) 文書・日誌類	<貞山様>	不明	1
621			057	11	(J) 文書・日誌類	源姓天童系図	不明	1
622			058	11	(J) 文書・日誌類	藤原氏伊達系図	不明	1
623			059	11	(J) 文書・日誌類	(系図) <人皇五十六代清和天皇>	不明	1
624			060	11	(J) 文書・日誌類	系図	不明	1
625			061	11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
626			062	11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
627			063	11	(J) 文書・日誌類	所有地字母絵図面	不明	1
633			069	11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
634			070	11	(J) 文書・日誌類	(政宗履歴)	中世(文禄4年)	1
635			071	11	(J) 文書・日誌類	内容不明	江戸(万治2年)	1
636			072	11	(J) 文書・日誌類	<相馬盛胤・義胤>	不明	1
小計								739
637	L	L	001	1	(3) (D) 家具・調度	火鉢①	昭和 12 年	1
638			002	1	(3) (D) 家具・調度	火鉢②	不明	1
639			003	9	(G) 婚姻関係用具	火鉢③～⑥	不明	4
640			004	9	(L) その他	婚礼用膳①～②	不明	2
641			005	9	(L) その他	祝儀用膳①～③	不明	3
642			006	9	(L) その他	仏事用膳①～③	不明	3
643			007	9	(L) その他	仏事用二の膳	不明	1
644			008	9	(L) その他	仏事用三の膳	不明	1
645			009	9	(L) その他	祝い膳(方形、小)①～③	不明	3
646			010	9	(L) その他	祝い膳(方形、大)①～③	不明	3
647			011	1	(2) (I) 飲食器	漆塗蓋付椀①～⑤	不明	5
648			012	1	(2) (I) 飲食器	漆塗小皿①～⑤	不明	5
649			013	1	(2) (I) 飲食器	漆塗中皿①～③	不明	3
650			014	1	(2) (I) 飲食器	漆塗中皿④	不明	1
651			015	1	(2) (I) 飲食器	漆塗中皿⑤	不明	1
652			016	1	(2) (I) 飲食器	漆塗杯①～⑥	不明	6
653			017	1	(2) (I) 飲食器	漆塗杯⑦	大正 13 年	1
654			018	1	(2) (I) 飲食器	漆塗杯⑧	不明	1
655			019	1	(2) (I) 飲食器	漆塗杯⑨	不明	1
656			020	9	(L) その他	祝い膳(円形、小)①～③	不明	3
657			021	9	(L) その他	祝い膳(円形、大)①～③	不明	3
小計								52
658	M	001	M	1	(2) (F) 釀造・製造用具	鉄鍋	昭和	1
小計								1
659	N	001	N	1	(1) (B) 結髪・化粧道具	鏡	不明	1
660		002		9	(F) 婚礼用具	櫃	不明	1

661		003		9	(F) 婚礼用具	朱塗り重箱	不明	1
662		004		9	(F) 婚礼用具	銚子	不明	4
663		005		9	(F) 婚礼用具	膳	不明	2
664		006		9	(F) 婚礼用具	祝儀樽	不明	1
665		007-1		9	(F) 婚礼用具	祝儀膳	不明	14
666		007-2		9	(F) 婚礼用具	祝儀膳	不明	20
667		008		9	(F) 婚礼用具	膳・椀	不明	24
668		009		9	(F) 婚礼用具	鉢	明治5年	2
669		010		9	(F) 婚礼用具	対銚子	不明	2
670		011		1	(2) (B) 貯蔵用具	壺	不明	4
671		012		1	(3) (D) 家具・調度	花器	不明	1
672		013		1	(3) (D) 家具・調度	手焙火鉢	不明	1
673		014-1		1	(3) (D) 家具・調度	香炉	不明	1
674		014-2		1	(3) (D) 家具・調度	香炉	不明	1
675		015		1	(2) (C) 炊事用具	鉄壠	不明	1
676		016		1	(2) (C) 炊事用具	茶釜	不明	1
677		017-1		1	(2) (I) 飲食器	鉢	不明	2
678		017-2		1	(2) (I) 飲食器	鉢	不明	1
679		018		11	(K) その他	土師器(埴)	4世紀	1
680		019		1	(2) (D) 調理・調整具	擂鉢	不明	3
681		020		1	(2) (I) 飲食器	皿	不明	2
682		021		1	(2) (I) 飲食器	大皿	不明	3
683	N	022	N	1	(3) (D) 家具・調度	蠅取器	不明	1
684		023		6	(C) 神事・法会用具	雲版	昭和7年	1
685		024		1	(3) (D) 家具・調度	手焙火鉢	不明	2
686		025		1	(3) (D) 家具・調度	火鉢	不明	1
687		026		1	(3) (D) 家具・調度	火鉢用具一式	不明	7
688		027		1	(3) (D) 家具・調度	燭台	不明	2
689		028-1		4	(C) 計算・計量具	竿秤	不明	2
690		028-2		4	(C) 計算・計量具	竿秤	不明	2
691		029		7	(A) 教育施設・用具	筆箱	不明	1
692		030-1		7	(A) 教育施設・用具	文箱	不明	1
693		030-2		7	(A) 教育施設・用具	文箱	不明	1
694		031		4	(B) 商業用具	文箱	文化11年	1
695		032		1	(2) (E) 保存・加工具	重箱(三重)	不明	1
696		033		1	(2) (E) 保存・加工具	重箱(二重)	不明	1
697		034		1	(2) (J) その他	膳	不明	2
698		035		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	7
699		036		1	(2) (J) その他	盆	不明	2
700		037		1	(2) (J) その他	盆	不明	9
701		038		1	(2) (J) その他	膳	不明	8
702		039		1	(2) (C) 炊事用具	桶	不明	5
703		040		1	(2) (C) 炊事用具	桶	不明	2
704		041		1	(2) (J) その他	膳	不明	8
705		042		4	(C) 計算・計量具	升	不明	4
706		043		1	(2) (C) 炊事用具	飯櫃	不明	2

707	N	044	1	(2)	(I) 飲食器	皿	明治 22 年	16
708		045	1	(2)	(I) 飲食器	皿	不明	18
709		046	1	(2)	(I) 飲食器	皿	不明	17
710		047	1	(2)	(I) 飲食器	小鉢	不明	4
711		048	1	(2)	(I) 飲食器	小皿、他	不明	25
712		049	1	(2)	(I) 飲食器	小鉢、茶碗	不明	21
713		050	1	(2)	(I) 飲食器	蓋付丼	不明	5
714		051	1	(2)	(I) 飲食器	湯呑茶碗	不明	33
715		052	1	(2)	(I) 飲食器	刺身皿セット他	不明	28
716		053	1	(2)	(G) 嗜好品用具	徳利、袴	明治	15
717		054	1	(2)	(G) 嗜好品用具	徳利、盃、袴	不明	22
718		055	11		(F) 拓本・墨書	額装 墨書	江戸か大正	1
719		056	11		(F) 拓本・墨書	額装 墨書	不明	1
720		057	11		(F) 拓本・墨書	額装 教育勅語	昭和 23 年	1
721		058	1	(3)	(D) 家具・調度	屏風	不明	1
722		059	1	(3)	(D) 家具・調度	屏風	不明	1
723		060	11		(F) 拓本・墨書	額装 墨書	明治 28 年か?	1
724		061	11		(D) 絵画・錦絵・版画類	屏風	明治 28 年か?	1
725		062	2	(8)	(B) 細工用具	ミシン	不明	1
726		063	1	(2)	(B) 貯蔵用具	桶	不明	1
727		064	1	(3)	(F) 建築習俗用具	上棟式札	大正 15 年	1
728		065	11		(I) 学校教育用品類	『中等教科練習用國文典』	大正 13 年	1
729		066	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『六書』	不明	1
730		067	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『葉隱武士道精義』	昭和 19 年	1
731		068	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『新題林和歌集』	不明	1
732		069	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『碧巖集講話』	不明	1
733		070	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『古今実録参考 源平盛衰記』	明治 16 年	1
734		071	11		(I) 学校教育用品類	『幾何学教科書』	明治 40 年	1
735		072	11		(J) 文書・日誌類	『つどいの跡 青年団大会記録』	大正 15 年	1
736		073	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『十二月帖』	不明	1
737		074	11		(I) 学校教育用品類	『中等國語讀本』	不明	1
738		075	11		(I) 学校教育用品類	『尋常小学讀本』	不明	1
739		076	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『窮理図解』	明治元年	1
740		077	11		(I) 学校教育用品類	『小学地理』	明治 37 年	1
741		078	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『FOUR SHORT STORIES』	昭和 39 年	1
742		079	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『新国文典』	明治 45 年	1
743		080	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『漢文新讀本』	大正 14 年	1
744		081	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『庭訓往来』	不明	1
745		082	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『町人?底拂』	江戸	1
746		083	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『繪入通俗』	明治 20 年	1
747		084	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『校正 日本外史』	不明	1
748		085	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『中庸』	不明	1
749		086	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『現代用語の基礎知識』	昭和 24 年	1
750		087	11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	『新選地誌』	明治 20 年	1

751		088		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『格物入門和解』	明治 42 年	1
752		089		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『四書鈔』	不明	1
753		090		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『窮理答』	不明	1
754		091		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『節用集』	不明	1
755		092		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『新令字解』	不明	1
756		093		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『讀史廣益 玉篇索引』	明治 20 年	1
757		094		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『樂訓』	安政 5 年	1
758		095		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『小学国語読本』	明治 33 年	1
759		096		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『カインの末裔』	大正 7 年	1
760		097		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『類題和歌集』	不明	1
761		098		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『商賣往来』	文政 13 年	1
762		099		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『大學』	明和 8 年	1
763		100		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『世話千字文』	天明	1
764		101		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『宮城県宮城郡統計書』	明治 39 年	1
765		102		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『載陽帖』	天保 2 年	1
766		103		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『Standard Choice Readers』	明治 40 年	1
767	N	104	N	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『難經本義』	不明	1
768		105		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『開卷百笑』	不明	1
769		106		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『南池記序』	不明	1
770		107		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『義工明鑑』	不明	4
771		108		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『神路夜話』	不明	1
772		109		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『少年餘響』	不明	1
773	N	110	N	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『西画指南』	明治 4 年	1
774		111		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『古今算法記』	不明	2
775		112		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『神路夜話』	不明	2
776		113		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『三省錄』	文久 2 年	2
777		114		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『國技武邊』	天保 8 年	2
778		115		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『十八史略讀本』	不明	2
779		116		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『啓蒙國史略』	不明	2
780		117		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『鎮西菊池軍記』	不明	2
781		118		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『文章軌範評林』	明治	2
782		119		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『統文章軌範評林注釈』	不明	2
783		120		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『皇朝史略』	不明	4
784		121		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『統 皇朝史略』	不明	3
785		122		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『藩翰譜』	不明	4
786		123		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『武將感狀記』	不明	2
787		124		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『世界都路』	不明	3
788		125		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『通俗東漢紀事』	不明	5
789		126		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『近代正説碎玉話』	不明	3
790		127		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『論語』	不明	4
791		128		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『孟子』	不明	3
792		129		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『博覽古言』	不明	5
793		130		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『婦人寿草』	不明	6
794		131		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『梧窓漫筆』	不明	4
795		132		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『落葉集』	不明	5

796		133		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『童蒙をしへ草』	不明	5
797		134		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『耳袋』	不明	5
798		135		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『校訂標註 十八史略読本』	不明	5
799		136		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『国史略』	不明	4
800		137		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『読史餘論』	萬延元年	12
801		138		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『真田三代記』	不明	10
802		139		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『近世事情』	不明	9
803		140		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『国史攬要』	不明	7
804		141		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『俳句雑誌』	大正、昭和	18
805		142		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『日本政記』	明治	10
806		143		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『太平記』	明治	12
807		144		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『常山紀談』	不明	14
808		145		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『通俗漢楚軍談』	不明	15
809		146		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『通俗列国志 十二朝軍談』	正徳	14
810		147		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『通俗演義三国史』	不明	23
811		148		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『校正増続大廣益会玉篇大全』	明治	10
812		149		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『太閤真顕記』	不明	27
813		150		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『四書餘師』	不明	10
814		151		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『精注唐宋八家文讀本』	明治 18 年	16
815		152		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『古今武家盛衰記』	不明	16
816		153		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『野史』	不明	47
817		154		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『訓蒙大日本史』	不明	35
818	N	155	N	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『資治通鑑』	明治 26 年	70
819		156		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『啓蒙 日本外史』	明治 8 年頃か？	34
820		157		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『増補 日本外史』	明治 9 年	12
821		158		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『啓蒙 国史略』	明治 8 年	8
822		159		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『大日本史』	文化 7 年	96
823		160		1	(3) (D) 家具・調度	衣装箱	不明	1
824		161		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	1
825		162		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	1
826		163		1	(3) (D) 家具・調度	本箱	不明	2
827		164-1		1	(3) (D) 家具・調度	本箱	不明	1
828		164-2		1	(3) (D) 家具・調度	本箱	不明	1
829		165		1	(3) (D) 家具・調度	菓子箱	不明	2
830		166		1	(3) (B) 住居	棟札	嘉永 5 年	1
831		167		11	(A) 写真・写真帳	人物写真	大正 4 年	1
832		168		11	(C) 封書・絵葉書類	葉書き	不明	1
833		169		11	(J) 文書・日誌類	書簡	大正 3 年	1
834		170		11	(J) 文書・日誌類	卒業証書	明治 44 年	1
835		171-1		11	(J) 文書・日誌類	賞状	大正元年	1
836		171-2		11	(J) 文書・日誌類	賞状	大正元年	1
837		172		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞号外	明治 45 年	2
838		173		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	桜井駅楠公教訓図	不明	1
839		174		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	宮中三殿並三大祭典御図	明治 41 年	5
840		175-1		11	(E) 掛軸	掛軸	不明	1
841		175-2		11	(E) 掛軸	掛軸	昭和	1

842		175-3	N	11	(E) 掛軸	掛軸	不明	1	
843	N	175-4		11	(E) 掛軸	掛軸	不明	1	
844		176		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	絵画	不明	1	
小計								1072	
合計								3489	

資料調査風景写真



資料記録作業



下張り剥がし作業



下張り剥がし作業（2）

(5) 水損文書の応急処置

1 発見から処置までの経過

震災から2ヶ月程経過した5月10日、津波で浸水した住宅から古文書が発見されたとの連絡を受け、所有者宅に向かい漆塗りの文箱や引き出しに入った文書、冊子があることを確認した。2ヶ月が経過しているにも関わらず、いずれの資料も濡れたままの状態であり、文箱に入った文書は表面上にカビなどは発生していなかったが、引き出しに入ったものについては、カビが発生していることを確認した。

5月11日、エタノールが500ml入手できたことから、水浸資料に噴霧した。また、状態を急激に乾燥させないため、バリアフィルム（商品名エスカル）で資料を梱包した。

5月12日、仙台市博物館の古文書の専門家に資料を実見してもらった。資料を市で預かり応急処置を実施した方が良いとの助言を受け、所有者の了承を得た上で埋蔵文化財調査センターに資料を搬入した。

資料搬入後、どのような処置をすべきか見当もつかなかったため、写真撮影した上でエタノールを噴霧し、バリアフィルムで梱包した。冷凍すべきであったが、冷凍庫が確保できなかつたため常温で保管した。

5月13日、気温が高い時期であったことから、冷凍庫や保存処理の受け入れ先が決まるまでの間、少しでも低い温度で保管するため、クーラーボックスを確保し保冷剤を入れて保管した。保冷剤については1日2回（朝夕）交換し、クーラーボックス内の温度についてはデータロガーで記録した。

2 応急処置

5月24日、一部の資料で腐食臭がしたことから、早急に応急処置を実施する必要があると判断、資料が70点ほどであったことから、本市教育委員会で応急処置を実施することとした。冊子についてはスクウェルチ・パッキング法、1枚ものの古文書については吸水法による処置を開始し、以後5月30日までの間、毎日2回吸水紙を取り替えながら実施した。

吸水法で処置した古文書については、重なった紙を丁寧に剥がしながら吸水させ、5月30日に処置が終了したが、カビ等により腐食しているものに関しては、固着して剥がれない状態になっていた。スクウェルチ・パッキング法で処置していた冊子については、なかなか水分が減らない状況であったことから、冷蔵庫が確保できたこともあり、温度を2度に設定した上で保管することとした。また、処置を実施していない巻子状の古文書についても、同様に保管した。

なお、これらの処置については、東北歴史博物館のご教示や5月10日に東京文化財研究所で開催された「被災文化財レスキュー事業情報共有・研究会」で配布された資料を参考にしながら実施した。

3 応急処置後

吸水法による応急処置で多くの資料は腐食を止めることができたが、カビなどにより固着してしまった文書が見られたことや、巻子状の古文書を、どのように処置すべきか判断できなかつたことから、東北芸術工科大学文化財保存修復センターの半田教授、大山研究員に相談し、東北芸術工科大学で修復を実施してもらうこととした。

また、スクウェルチ・パッキング法で実施した冊子については、なかなか水分が減らないことから東北歴史博物館に相談したところ、真空凍結乾燥法で実施することとなった。

吸水法により実施した資料については、東京文書救援隊の文書復旧システムを導入し、脱塩のための洗浄とフラットニング処置を行った。

4 課題・問題点

今回の震災はあまりにも被害が大きく、行政の中の文化財担当職員が震災後の対応に追われる中での作業であり、対応が後手になったことは否めない。

また、個人所有の資料について、被災文化財レスキュー事業では、応急処置は無償で実施してもらえるとのことであったが、処置後の輸送費については費用負担を求めるとの情報があった。被災した文化財の所有者は被災者でもあり、そのような中、所有者に対し費用負担を強いることは難しく、遠方での応急処置は二の足を踏んでしまう現状があった。

今回のような大きな災害で多くの資料を守るには、近隣での応急処置を実施する拠点や仕組みづくりが今後必要であろう。



発見された水損文書



エタノール噴霧



東北芸術工科大学での応急処置



文書復旧システム実施状況

7. まとめ

(1) 主な倉の構成と年代

今回の倉の調査によって確認された189棟の倉を概観して見ると、分布的には南宮が39棟と最も多く、次いで八幡が35棟、市川が32棟所在しており、この3地区が群を抜いている。この他では、新田が18棟、山王が15棟で続いている。地域的には、西部地域と八幡地区に集中していることが伺える。西部地域の中でも、南宮・山王・市川は、塩竈街道沿いの地域に位置し、この3地区の倉の割合は全体の45%を占めている。塩竈街道は、近世には仙台城下から岩切を通じて市川橋から陸奥総社宮、そして塩竈神社へ通じる主要な街道であり、沿道には、江戸時代以来の農村集落が営まれている。

倉の種類別の割合をみると、板倉が135棟、石倉30棟、土蔵24棟の順で、板倉が全体の71%を占めている。地区別にみると、板倉は南宮27棟、市川23棟、八幡17棟の順となる。これ以降は新田16棟、山王14棟で続いている。

次に石倉は全体の16%で、地区別では、八幡が半数の15棟を有する。2位の南宮が5棟、3位の高橋が3棟であることから、石倉は圧倒的に八幡に多く分布していることが判明した。これは、建築時期にややばらつきがあるものの大正8年（1919）に起きた八幡の大火によって、広い地域が焼失したことから火災に強い石倉を建築することになったものと思われる。石材は、野蒜石を使ったものがほとんどである。

土蔵については、全体の13%で最も少ない割合を示している。地区別では、南宮と市川が7棟で同数をもっている。その他では、八幡が3棟、高崎と笠神で2棟を数えるが、倉の棟数が多い新田では1棟のみであり、山王では全く確認されていない。

最後に、倉を所有する軒数と倉の棟数を比較すると、軒数156に対して棟数189と33棟多い数値を示している。これは、複数の倉を所有することを意味しており、その構成について概略的に記述しておきたい。

倉の構成をみると、次のように分類される。

- (イ) 板倉+板倉……15軒
- (ロ) 板倉+土蔵……9軒
- (ハ) 土蔵+土蔵……1軒
- (ニ) 石倉+石倉……1軒
- (ホ) 土蔵+石倉……1軒
- (ヘ) 板倉+土蔵+土蔵……2軒
- (ト) 板倉+土蔵+石倉……1軒

このように複数の倉を持つ軒数は、156軒中30軒で全体のおよそ20%弱であるが、倉の構成は、7つに分類されることが明らかとなった。そのうち、30軒中半数が(イ)の板倉2棟で構成されるものである。次いで(ロ)の板倉と土蔵の組合せが9軒あり、これら2種類が際だっている。地区別では南宮と市川に多く、特に市川では20軒中11軒に複数の倉が建築されている。また、3棟で構成される倉も存在することが明らかになった。軒数的には3軒と少ないが、それぞれの用途に応じた役割をもって

建築されていたものと思われる。

ここで、倉の年代について今回の調査結果から知り得た範囲で簡単に触れておきたい。倉に関する聞き取り調査で、倉の年代がある程度把握できた。全体のおよそ 65% に当たる 124 棟で建築された時代を知ることが出来た。内訳は、江戸時代が 15 棟（板倉 13 棟、土蔵 1 棟）、明治～大正時代が 66 棟（板倉 55 棟、石倉 1 棟、土蔵 10 棟）、昭和時代のものは 43 棟（板倉 21 棟、石倉 21 棟、土蔵 1 棟）である。倉の年代については、やや不確実なところもあるが、調査時に話しを聞くことが出来た家人からの聞き取りであることを付け加えておきたい。

しかし、この中には、棟札がある倉や内面に墨書きされているものもあり、確実に建築年代が判明したものもある。記載されているその内容も多岐に及んでいるが、紙面の関係もあるので、ここではその一部を紹介することに留めておきたい。

資料 1 は、市川の石倉の棟札である。建築年代「昭和拾七年四月」と記されており、建築主と岩工 3 人と大工の名前が板材に墨書きされている。棟札は、石倉の内部を材木で 2 階建てにしており、その 2 階部分の入り口上部に付けられていた。

資料 2 は、市川の板倉に記された墨書き銘である。墨書きされている場所は、西側妻柱の中央の柱である。文字は 2 行にわたって漢文で記されている。以下に読み下しを記述する。

「荒歳を忘る勿れ、利潤を貪る勿れ、備俵を貸す勿れ、儉勤を怠る勿れ、大切に臨みては宜しく時機に順ずべし、時 天保六年初夏吉辰の造立也、志賀信濃守藤原廣喜書す、市川邑大工棟梁齋三郎」

この文の内容からみて、志賀家に伝わる「家訓」を記したものと思われる。建築年代は、文中に記されている天保六年（1835）の年である。さらに、大工棟梁は地元市川にいる人物であることも解った。

この他にも年代が解る板倉や土蔵が複数確認されている。墨書きされているものや記録があるものから建築年代をみると、江戸時代の弘化 4 年（1847）、嘉永 5 年（1852）、文久 3 年（1863）等の年号が記されている。また、明治時代のものとしては、明治 3 年（1870）、明治 8 年（1875）、明治 14 年（1881）をはじめその他にも多くの板倉の建築年代を知ることが出来る。

さらに、大正から昭和にかけても倉の建築が行われており、この建築時期については、大正 8 年の八幡の大火、昭和 17 年の海軍工廠の建設による中谷地など沖区の強制移転等の要因が考えられる。

(資料 1)



棟札のある石倉



棟札に掲げられた棟札

(資料2)



墨書銘のある板倉



棟札のある板倉



墨書 1

(柱に記された墨書銘)

勿忘荒歳
勿貸備俵
勿怠僕勤

臨大切宜順時機

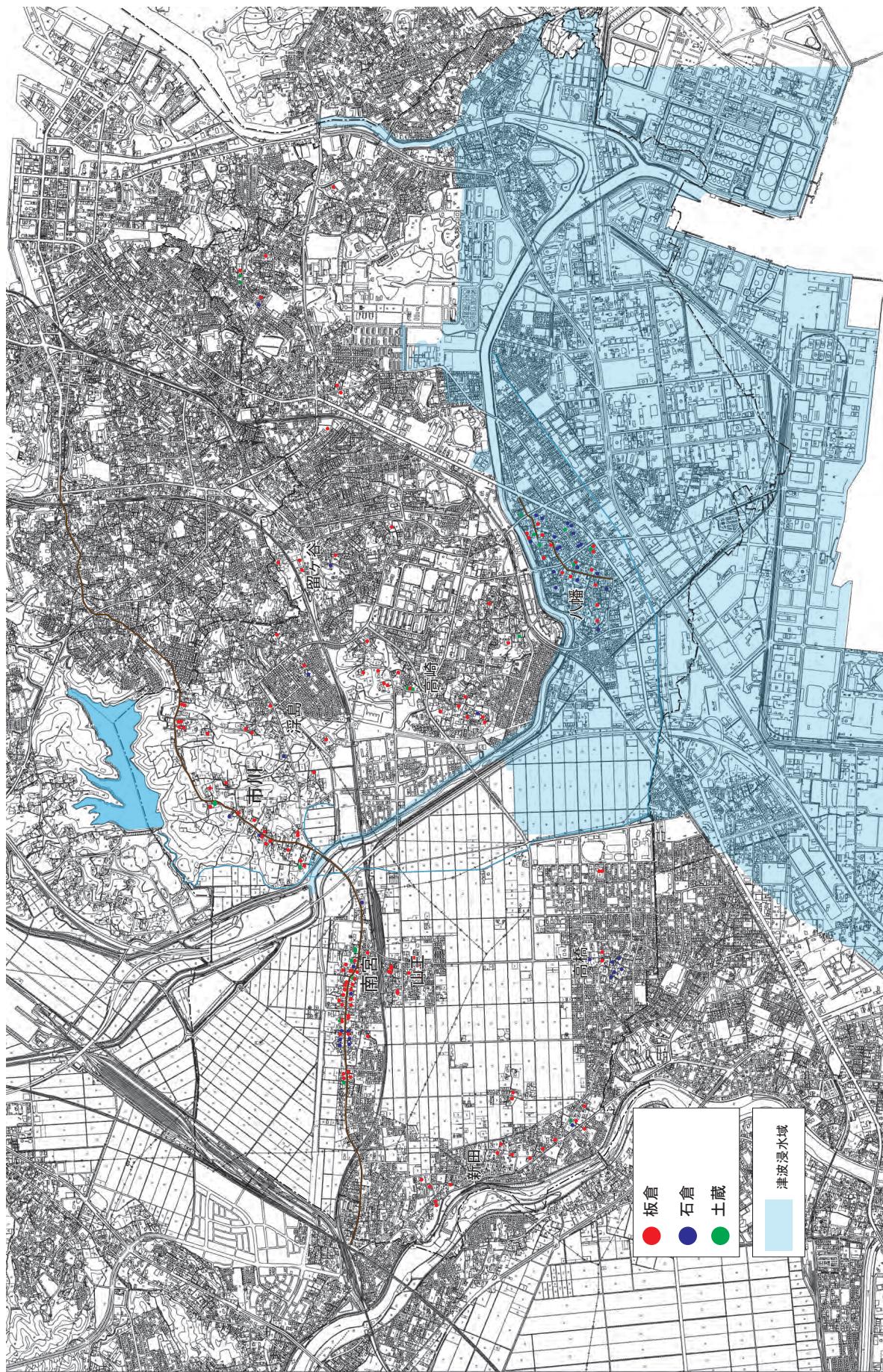
旨天保六年初夏吉辰造立也
志賀信濃守藤原廣喜書

市川邑大工棟梁
齋三郎



墨書 2

第8図 倉庫の分布図



倉の写真



石倉 1



石倉 2



石倉 3



土蔵



板倉



複数の倉 1（板倉・土蔵）



複数の倉 2（板倉・土蔵）



複数の倉 3（土蔵・土蔵）

(2) 板倉の構造的特徴について

多賀城市内に所在している板倉の構造について、まとめておきたい。

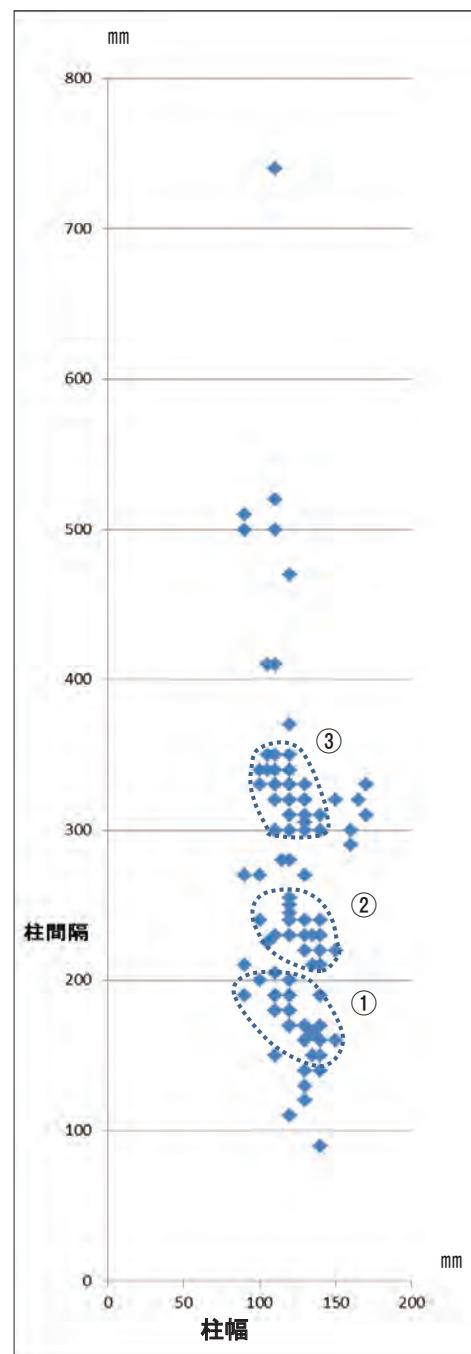
板倉の特徴として第1に上げられるのは、柱間隔が極端に狭く、柱と柱の間に板材をはめ込んだ「繁柱板倉」と呼ばれる倉の存在が上げられる。この形式の板倉は、主に宮城県北と岩手県南の地域に見られることが知られている（註）。次に板倉の柱幅と柱間隔について見てみると、柱幅は90mm～170mmの範囲に含まれるが、柱間隔は、90mm～740mmまで広い値を示している。つまり、柱間隔には、柱幅と同じ幅をもつものからかなり幅広いものまで、多様な形態が認められる。しかし、柱幅と柱間隔について数値データを図表化（第9図）してみると、柱間隔の数値分布が3カ所集中している所がある。数値の低い方から上げると、①150mm～200mm、②210mm～250mm、③300mm～350mmの範囲に集中している傾向が見られた。これらの柱幅と柱間隔の比率をみてみると、柱幅1に対して柱間隔の値は①が1.0～2.0、②が1.5～2.4、③が2.2～3.3となる。このように柱間隔に違いがあるものの、倉の外周には数十本の柱が林立する外観は、極めて特異な構造であると言えよう。

さらに、数値分布グラフでも明らかなように、柱間隔が400～500mmを持つものもあるが、1棟だけ柱幅110～120mm、柱間隔740～780mmの倉が存在する。この板倉は、八幡にあるもので、倉の入り口上部に「恩賜郷倉」銘の銅板札が打ち付けられているものである。恩賜郷倉とは、昭和9年東北地方の凶作に心を痛められた天皇の命によって、翌年の昭和10年から東北地方に米の備蓄を目的に建設されたものである。郷倉は、当時の村単位で設置されていたが、現在ではほとんど遺ってはおらず市内では、唯一笠神に石倉が現存しているだけである。

柱と柱の間を埋める板材は、ほとんどが横にはめ込む形式のもので、板の幅は150～500mmのものまで様々である。また、極少数ではあるが一枚板を縦にはめ込む形式のものも確認している。

屋根は、ほとんどが瓦葺きで一重のものと二重の屋根を持つものがある。瓦屋根はその多くが葺き替えされており、古くは茅葺きであったと言われている。

入り口は、妻入りと平入りがあり、その庇も入り口部のみに付くものと全体に付くものとがある。平入り入り口面全体に付く庇は、正面から見ると重層構造を呈しており、景観的に重厚な雰囲気を醸し出している。また、装飾につ



第9図 板倉の柱幅と柱間隔の数値分布グラフ

いては、腕木や持ち送りに彫刻を施したり、神社建築を模したもの、欄間を付けたものなど大工棟梁の巧みの技を感じさせるものもある。さらに、ごく少数ではあるが、入り口扉や板倉外面に赤色や黒茶色の塗装を施しているもの、扉が三重（観音扉、引き戸、格子戸）、二重（引き戸、格子戸）のものなどもあることが明らかになった。

倉の内部は、穀物の貯蔵を主な目的として建築されたこともあり、ほとんどは、天井のない広い空間を持っていたが、一部二階建てのものや壁面周囲に棚を造り付けたものなども認められた。そこには、冠婚葬祭用の什器や生活用具、長持ちなども保管していた。また、米は、お金と同じ価値を持っていたことから、商品との交換として使われたこともあり、倉をネズミから守るための「ネズミ返し」が入り口部に付けられている。

次に、板倉の外周に竹や板材を立て掛け、軒下を柵状に巡らしているものがある。また、板倉の外周に柵状に板材を打ち付けているものも認められた。さらには、切り妻屋根の破風に板材を打ち付けて暖簾状に化粧しているものもある。これらの付帯施設は、雨や雪、風、暑さ避けのために作られたもので、倉を大切に考える住民の意識の深さが感じられる。

最後に、板倉の配置について見てみると、そのほとんどが主屋と対面する位置に置かれている。板倉は、元々米倉として建築されたものであり、主食として大切な食料を盜難や火災等から守るために、入り口も常に家主の目が届く位置に配置されたものと考えられる。このことは、塩竈街道沿いにある南宮や山王地区の住家において、現在主屋と板倉の配置が異なる場合でも、そのほとんどが元々の母屋の位置が板倉と対面する場所にあったことを確認していることからも、確立された配置形式であると言える。

（註）高橋恒夫「近世在方集住大工の研究」中央公論美術出版 2010



繁柱板倉



繁柱板倉



郷倉として使われた板倉



「恩賜郷倉」銅製銘板



二重屋根の板倉



平入りの板倉



入り口扉に塗装された板倉



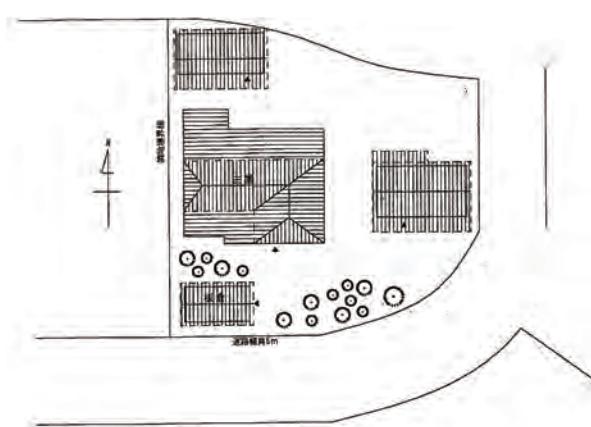
竹垣を廻した板倉



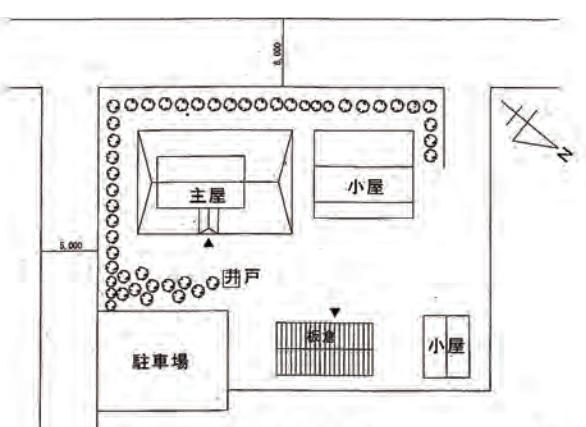
板杭を廻した板倉



破風に化粧された板倉（2）



配置図（1）



配置図（2）



先祖の名前を入れた鬼瓦



装飾された持送りと腕木



入り口の二重扉



木鼻付腕木と枠組



入り口の引き戸



彫刻付の持送り



入り口のネズミ返し



彩色された持送り



倉の鍵



腕木付小窓



倉の見える風景



倉の見える風景（2）



街道に面した板倉



街道に面した板倉（2）



街道に面した倉の風景



街道から見える倉の風景

(3) 保全資料の処置と記録作成

ここではレスキューしてきた資料の現状と今後の処置の方向について、文書関係・歴史資料関係・民俗資料関係に分けてまとめてみたい。

文書資料は、現在埋蔵文化財調査センター及び多賀城史遊館の2カ所に仮収蔵されている。すべての資料の台帳登録・登録カードを作成した。

このうち多賀城史遊館に所在する資料については、資料カードも作成し当該資料にすべて添付したうえで、所有者ごとに分けて収蔵庫にて保管している。天童家から搬入したふすまの下張り文書の一部については解読も行った。ふすま以外の文書については、宮城学院女子大学J.F.モリス教授の指導を得ながら解読を進めている。しかし、文書の多くは、津波による海水の塩分を含んでいるため文書復旧システムを導入し、脱塩のための洗浄とフラットニング処置を実施した。今後は多賀城市埋蔵文化財調査センター内の空調設備等の整った収蔵庫に保管し燻蒸処理するとともに、解読作業をはじめ、詳細な調査・研究を継続的に進めていく予定である。

歴史資料関係の資料には、新聞・日記・書籍・地図などがある。中には、日露戦争当時の新聞、日露戦役従軍日誌などの貴重な資料も存在する。現在、これらの資料は多賀城史遊館に仮収蔵され、台帳登録・登録カードの作成及び資料カードの添付も完了した。津波の被害を受けた資料については脱塩作業を実施するとともに、保存管理のうえで空調設備等の整った収蔵庫に保管するほうが望ましいと考えられる資料については、多賀城市埋蔵文化財調査センターに移動させる予定である。今後、これらの資料についても詳細な調査・研究を継続的に進めていく予定である。

民俗関係の資料については、台帳登録・登録カードの作成及び資料カードの添付も完了し、多賀城史遊館に仮収蔵されている。今後、これらの資料についても文書や歴史資料と同様に詳細な調査・研究を継続的に進めていく予定である。

また、「文化財レスキュー活動報告展—東日本大震災と多賀市の文化財—」として、レスキュー活動や資料整理活動の概要、レスキューした主な資料を報告するための展示を平成24年3月10日（土）から6月10日（日）までの予定で、多賀城史遊館第2展示室で開催している。会期中の4月21日（土）には、「文化財レスキュー活動報告会—東日本大震災と多賀市の文化財—」を多賀城市文化センターで開催する予定である。さらには、資料の調査・研究の進展に合わせて、それらの企画展示や報告書の刊行などを随時実施していきたいと考えている。

8. おわりに

最後に、震災と歴史遺産の保存及び課題について述べたい。

4月になって、ようやく市内にある文化財の被災状況についての確認作業が行えるようになったが、その対象はこれまで把握しているものに限られた。

歴史遺産を後世にまで守り伝えるには、市民と行政が手を携えて、身の回りにある歴史遺産にも目を向け、地域の歴史を物語る上でかけがえのないものであるという認識をもつことが大切である。そのため

めには、日ごろより情報発信を積極的に実施する必要がある。

それと並行して、歴史遺産の所在確認を実施し、台帳作成を行うことも急務である。これが整備されれば、万が一災害に見舞われた際にも、被災状況の確認が容易に進められ、いち早く保全の手も差し伸べられるであろう。

また、資料調査に基づき、歴史的価値の高いものについては、指定や登録などの措置を行い、保護していくかなければならない。

そして、今回の活動内容なども踏まえながら、様々な文化財を指定の有無、類型の違いにかかわらず総合的に把握し、さらに周辺の環境も含めて一体のものとして捉えていくことが重要である。地域の歴史文化を保護・保存・活用していくためにも、こうした作業を通して、将来歴史文化基本構想を策定していきたいと考えている。

一方、今回のような大災害では、地域を越えた自治体の応援が不可欠である。また、多岐にわたる専門分野の職員の派遣など、人的支援体制も必要となると考える。そのためには、常日頃から地域を越えた連携を図ることが大切である。

地域に所在する各種の文化財は、その土地の記録を示す大切な歴史遺産である。災害の記録は、その土地に刻まれた歴史の中に息づいている。これまでも様々な災害を乗り越えて地域社会が営まれてきた。したがって、その土地の歴史を正しく理解することこそが地域の災害対策に役立つことになり、将来像を描くために必要な資料となる。震災を乗り越える地域の再生には、産業の振興や人々の暮らしの再生、新たな災害対策の強化は勿論のことではあるが、その地域がもっている特性（風土）、役割を再認識することが大切であると考える。それは、地域の歴史・文化に裏付けられた地域の再生である。

この度の当市の文化財レスキュー活動は、私たちだけの力では不可能であった。これを実現出来たのは、福岡県太宰府市、三重県明和町、神奈川県小田原市そして東京都国分寺市の文化財担当職員の協力があったからに他ならない。記して感謝を申し上げる次第である。

最後に、東日本大震災における当市の文化財レスキュー活動にあたり、調査を快く受け入れて頂いた所有者の方々、御支援・御協力を頂いた関係各位に対し、改めて心から感謝を申し上げる。

多賀城市文化財調査報告書第 110 集
文化財レスキュー活動報告書
—東日本大震災における倉の調査と資料の保全—

平成 24 年 3 月 31 日発行

編集 多賀城市教育委員会文化財課
多賀城市中央二丁目 1 番 1 号
電話 (022) 368 - 1141

発行 多賀城市教育委員会

印刷 今野印刷株式会社
仙台市若林区六丁の目西町 2 番 10 号
電話 (022) 288 - 6123
